

ひとり親家庭生活実態調査
子どもの生活実態調査
子ども・若者支援ニーズ調査
結果について
(速報)

令和6年3月14日(木)
福祉部子ども未来局
子ども・若者政策課

子ども・若者支援計画の位置付け（現行計画）

- 大津市子ども・若者支援計画は、子ども・若者・子育て支援施策に関する法令の規定により関連する計画を一体的に策定している。
- また、本市の関連計画との調和を図っている。

一体的に策定

- ◆子ども・子育て支援事業計画（子ども・子育て支援法）
- ◆次世代育成支援行動計画（次世代育成支援対策推進法）
- ◆子ども・若者計画（子ども・若者育成支援推進法）

内包

- ◆子どもの貧困対策計画（子どもの貧困対策の推進に関する法律）
- ◆ひとり親家庭自立促進計画（母子及び父子並びに寡婦福祉法）
- ◆母子保健計画
- ◆新・放課後子ども総合プラン



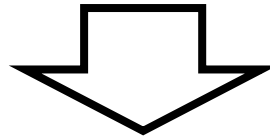
関連計画

- | | |
|------------|---------------------|
| ◇大津市地域福祉計画 | ◇健康おおつ21 |
| ◇おおつ障害者プラン | ◇大津市教育振興基本計画 |
| ◇大津市食育推進計画 | ◇大津市男女共同参画推進計画 etc. |

こども基本法に基づくこども計画の策定

- 令和5年4月1日にこども基本法が施行された。
- 法には、国は、こども施策を総合的に推進するためにこども施策に関する基本的な方針等を定める「こども大綱」を策定し（第9条）、地方自治体は、大綱を勘案してこども計画を策定することの努力義務が課せられている（第10条）ことが規定されている。
- その他、こども施策を策定、実施、評価するにあたり、対象となるこどもや子育て当事者等の意見を聴取し、反映させるために必要な措置を講じなければならない（第11条）。

※「こども」とは、心身の発達の過程にある者をいい、一定の年齢を上限を規定していない（第2条）



こども計画の策定は、こども施策に関し、総合的かつ一体的にこども施策を進めていく上で非常に重要であることから、**次期大津市子ども・若者支援計画を、こども計画として位置付ける予定**

子ども・若者支援計画の位置付け（次期計画）

一体的に策定

◆こども計画（こども基本法）

- ◆子ども・子育て支援事業計画（子ども・子育て支援法）
- ◆次世代育成支援行動計画（次世代育成支援対策推進法）
- ◆子ども・若者計画（子ども・若者育成支援推進法）

内包

- ◆子どもの貧困対策計画（子どもの貧困対策の推進に関する法律）
- ◆ひとり親家庭自立促進計画（母子及び父子並びに寡婦福祉法）
- ◆母子保健計画
- ◆新・放課後子ども総合プラン



関連計画

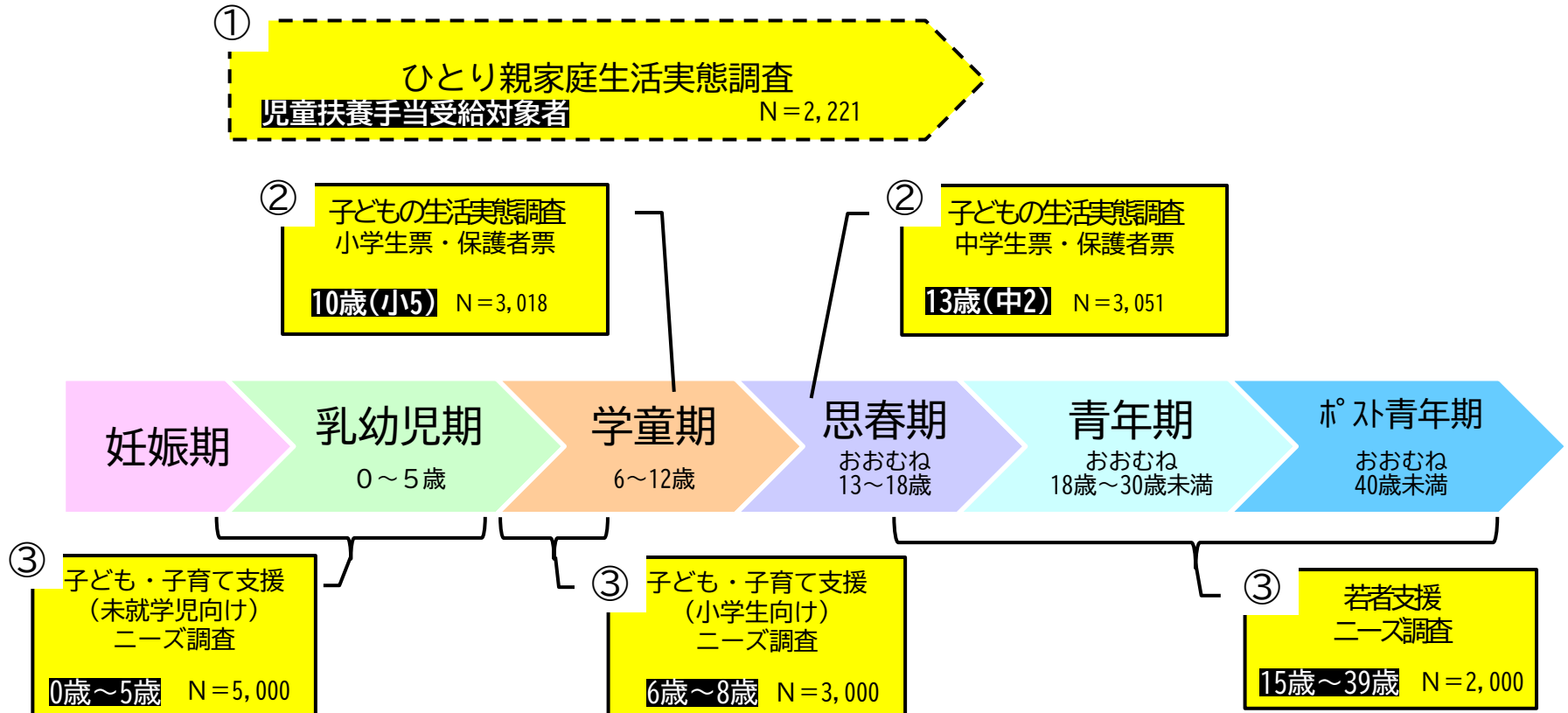
- | | | |
|------------|----------------|------|
| ◇大津市地域福祉計画 | ◇健康おおつ21 | |
| ◇おおつ障害者プラン | ◇大津市教育振興基本計画 | |
| ◇大津市食育推進計画 | ◇大津市男女共同参画推進計画 | etc. |

次期大津市子ども・若者支援計画こども計画の策定に向けて

- 計画の策定に向け、以下の子ども・若者の意見聴取事業に取り組む。

取組名	趣旨・目的	想定する対象者	実施期間
次期計画案に対する子ども・若者向けパブリックコメント	子ども・若者が理解しやすい計画素案（やさしい版）を作成し、パブリックコメントにより意見を聴取・反映する	小学生～若者 （おおむね39歳まで）	R6.4～R7.3 （準備期間含む）
LINEを活用した子ども・若者意見聴取事業	身近なコミュニケーションツールであるLINEの機能を活用し、子ども・若者から意見表明しやすい形式で意見を聴取し、反映する	高校生・大学生等 （おおむね39歳まで）	R6.4～R7.3
子ども・若者意見交流会	ファシリテータのもと、子ども・若者支援について対面形式で意見を聴取し、反映する	高校生・大学生	R6.4～8 （準備期間含む）
地域の活動から子ども・若者の思いを聴く取組	地域で行われている子ども・若者向けの活動から意見等を吸い上げ、施策に反映する	地域活動を実施する関係団体及び活動に参加する子ども・若者	R6.4～8
声を上げにくい子ども・若者の思いを聴く取組	幼児や課題を抱える子ども・若者の声を聴くために、普段接している支援者等にヒアリングを行い、その思いを聴取し、反映する	幼児または困難を抱える子ども・若者（児童養護施設、不登校、障害、いじめ、ひきこもりetc.）	R6.4～8

アンケート調査と対象者



等価世帯収入水準による比較について

収入区分によるクロス集計は、主に等価世帯収入※の考え方を活用している。

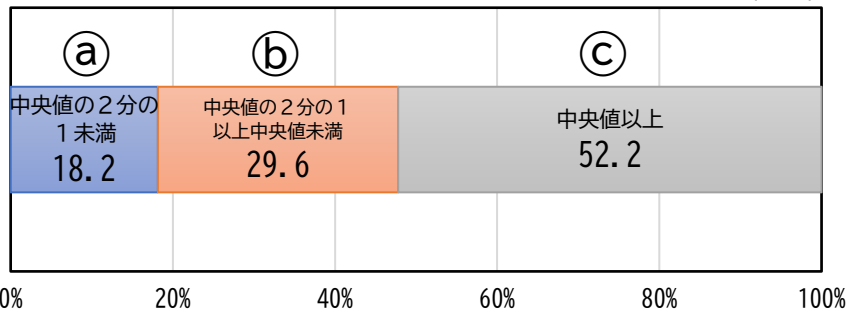
※等価世帯収入：世帯収入を世帯の人数の平方根で割ったもの

区分は以下の3層

- ① 相対的低所得層（回答者の等価世帯収入を昇順に並べた時の中央値の1/2未満）
- ② 準相対的低所得層（上記中央値の1/2以上中央値未満）
- ③ 一般層（上記中央値の1/2以上）

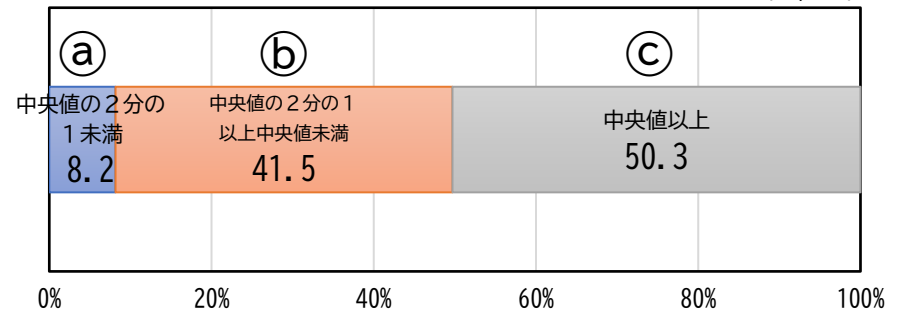
等価世帯収入水準（ひとり親家庭生活実態調査）

(N567)



等価世帯収入水準（子どもの生活実態調査）

(N2,141)



①ひとり親家庭生活実態調査 (調査概要)

1 目的

ひとり親家庭の生活実態を把握し、計画策定や支援検討の基礎資料とすることを目的として実施する。

2 対象

児童扶養手当を受給しているひとり親家庭の保護者

※期間中、児童扶養手当の現況届手続きに来られた対象者2,221人に配布

3 調査方法

電子アンケート形式

4 調査期間

令和5年8月4日（金）から令和5年9月15日（金）まで

5 有効回答者数

637人

6 有効回収率

28.7%

①ひとり親家庭生活実態調査：設問内容

ねらい	設問属性	設問項目	H29 大津市調査	H30 県調査	R3 国調査	
ひとり親家庭における子どもの権利擁護と生活の安定に資するための支援の検討	基本属性	問1 回答者の続柄	○		○	
		問2 回答者の年齢	○	○	○	
		問3 養育している子どもの人数	○	○	○	
		問4 世帯構成	○	○	○	
		問5 ひとり親になった理由	○	○	○	
	子どもの権利	問6 子どもの養育費に関する取り決め状況等	○	○	○	
		問7 面会交流に関する取り決め状況等	○	○	○	
	生活安定のための就労支援ニーズ	問8 就労状況			○	○
		問9 就労支援・資格取得支援事業の認知度				
		問10 取得している資格と仕事への有用性			○	
	家計状況の把握	問11 回答者の総年収			○	○
		問12 収支のバランス				
	相談ニーズ	問13 相談したい悩み		○	○	○
		問14 相談先			○	○
	日常生活支援利用ニーズ	問15 日常生活支援事業の利用について				
	自由記載	問16 自由記載			○	

①ひとり親家庭生活実態調査 (本速報における分析の方向性)

- **ひとり親家庭の相談状況**

抱えている悩みの内容とその相談先の単純集計、クロス集計から読み取る

- **養育費の受け取りや親子交流の実施状況**

取り決め状況の経年変化、取り決めに至らなかった理由から読み取る

- **経済的な自立に向けた就労支援の実施状況**

就労支援事業の認知度や資格の有無と、求職にあたっての課題や現在の雇用形態とをクロス集計することで読み取る

①ひとり親家庭生活実態調査 (悩みの内容別、相談の相手について)

問13 あなたが誰かに相談したい悩みについてあてはまるもの
【複数回答】(N637)(%)

近所・親戚つきあいについて	家事について	再婚について	無回答	その他	家族の世話について	病気について	借金・ローンのことについて	精神的不安定・さみしさについて	答えたくない	住宅について	子育てについて	仕事について	生活費について	子どもの教育・進学について
0.2	2.4	2.5	3.5	4.7	5.5	6.1	6.9	7.8	9.3	20.9	21.2	28.7	40.5	47.6

問14 あなたが悩みを相談したい行政や地域の相手についてあてはまるもの
【複数回答】(N637)(%)

地域の民生委員・児童委員・主任児童委員	ゆめつこの子育て支援センター	地域のすこやか相談所	大津市社会福祉協議会	大津市子ども家庭課	福祉推進員	無回答	母子・寡婦福祉団体(のぞみ会)の相談員	大津市子ども・子育て安心課の相談員	答えたくない	その他	相談したくない	大津市子ども家庭課の相談員
1.4	2.2	2.5	2.8	28.1	5.3	7.5	7.7	12.2	15.5	16.3	24.5	28.1

※その他には「相談相手がいない」、「わからない」といった回答が多数を占めた

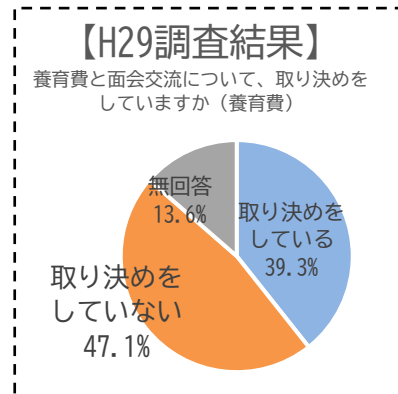
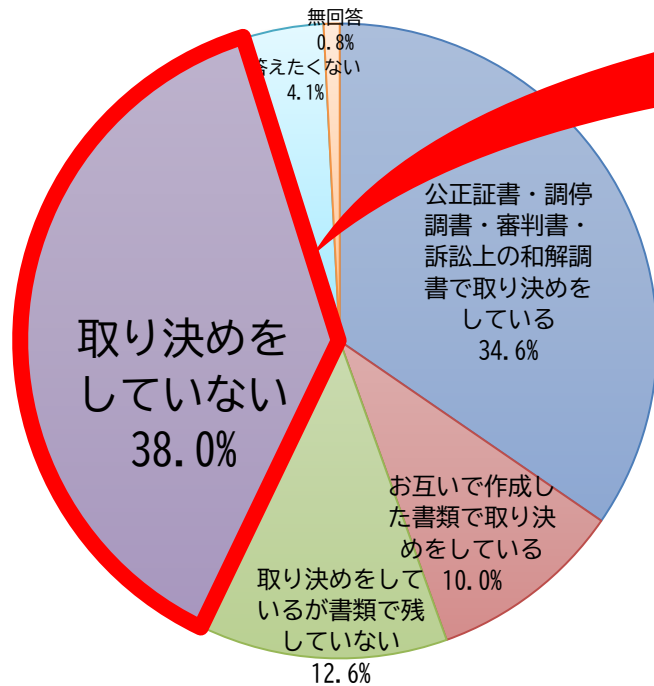
問13 あなたが誰かに相談したい悩みについて × 問14 あなたが悩みを相談したい行政や地域の相手について 【複数回答】(%)

問13 \ 問14	大津市子ども家庭課の相談員	相談したくない	その他	答えたくない	大津市子ども・子育て安心課の相談員	母子・寡婦福祉団体(のぞみ会)の相談員	地域のひとり親家庭福祉推進員	スクールソーシャルワーカー	大津市社会福祉協議会の相談員	地域のすこやか相談所の相談員	子育て総合支援センターゆめつこの子育て支援員	地域の民生委員児童委員・主任児童委員
全体(N637)	28.1	24.5	16.3	15.5	12.2	7.7	5.3	4.1	2.8	2.5	2.2	1.4
家族の世話について(N35)	42.9	17.1	20.0	11.2	11.4	11.4	11.4	2.9	2.9	5.7	11.4	-
子育てについて(N135)	36.3	17.8	18.5	12.8	18.5	11.9	8.1	11.9	4.4	6.7	7.4	1.5
生活費について(N258)	35.7	27.5	19.0	18.6	13.6	8.5	7.4	4.3	4.3	3.5	1.2	1.2
子どもの教育・進学について(N303)	34.7	20.1	19.1	9.6	14.9	9.9	6.3	5.9	4.0	3.0	1.7	2.6
借金・ローンのことについて(N44)	34.1	18.2	15.9	11.9	18.2	6.8	6.8	2.3	11.4	-	-	-
精神的不安定・さみしさについて(N50)	34.0	16.0	26.0	8.6	20.0	6.0	8.0	6.0	2.0	8.0	4.0	-
住宅について(N133)	30.8	27.1	16.5	10.0	14.3	10.5	6.0	2.3	1.5	-	-	1.5
仕事について(N183)	25.7	22.4	18.0	12.8	13.1	8.7	7.1	1.6	1.6	3.8	1.1	1.1
病気について(N39)	25.6	25.6	28.2	20.5	10.3	2.6	7.7	-	2.6	7.7	2.6	5.1
答えたくない(N59)	5.1	39.0	3.4	49.2	5.1	1.7	1.7	-	-	-	-	-

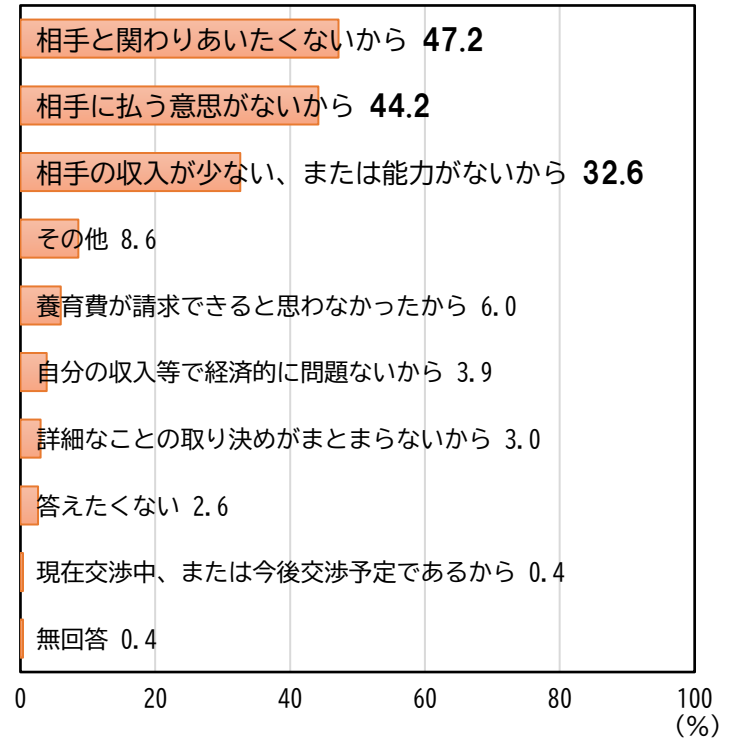
- 主たる相談先は子ども家庭課の相談員、子ども・子育て安心課、母子・寡婦福祉団体である
- 悩みを抱えながら、その他(相談相手がわからない、相談相手がいない)の回答が2割前後ある
- 悩みについて答えたくない人の4割は相談したくない人である

①ひとり親家庭生活実態調査 (養育費の取り決め状況について)

問6-1 お子様の養育費の取り決めについて、
次のうちあてはまるものはどれですか (N613)



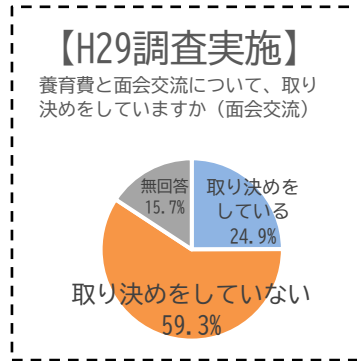
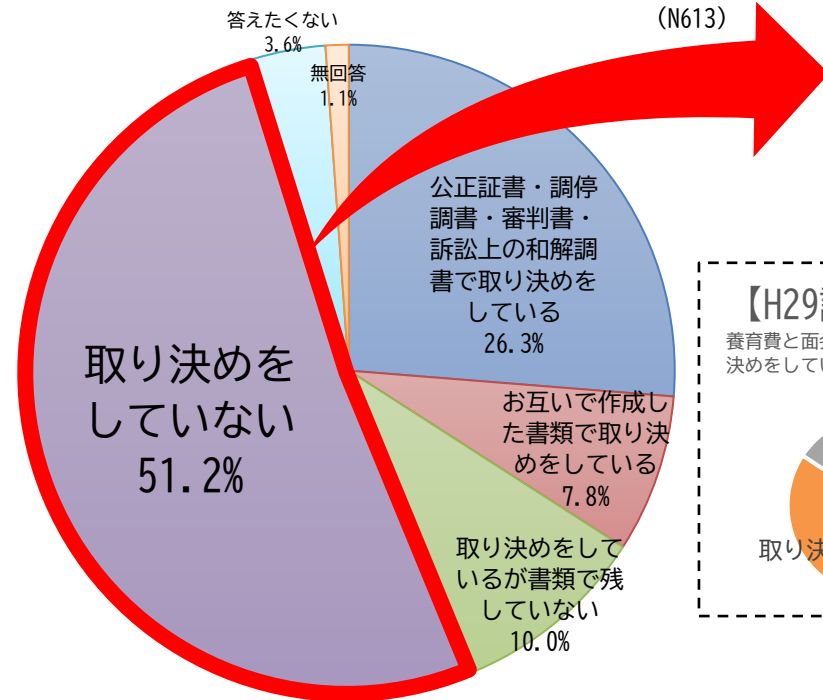
問6-2 お子様の養育費の取り決めをしていない理由について、
次のうちあてはまるものを最大3つ選んでください (N233)



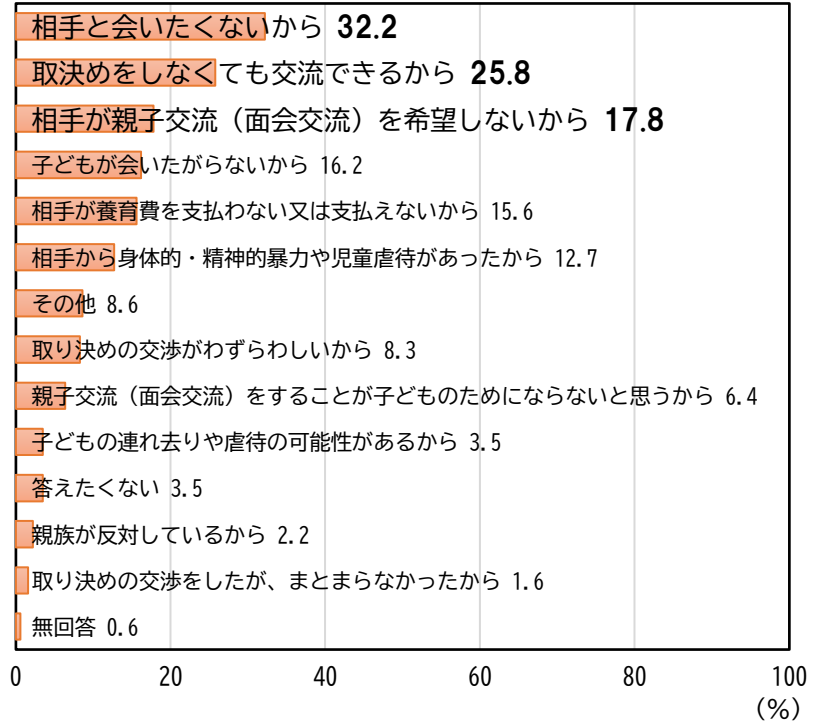
- 養育費の受け取りについて取り決めをしていない割合は、前回調査(H29実施)と比較して減少している
- 養育費の受け取りについて取り決めない理由は、相手と関わりたくない、相手が支払う意思がないという相手との関わりの中で発生している

①ひとり親家庭生活実態調査 (親子交流の取り決め状況について)

問7-1 親子交流（面会交流）の取り決め状況 (N613)



問7-2 親子交流（面会交流）を取り決めていない理由について、次のうちあてはまるものを最大3つ選んでください (N314)

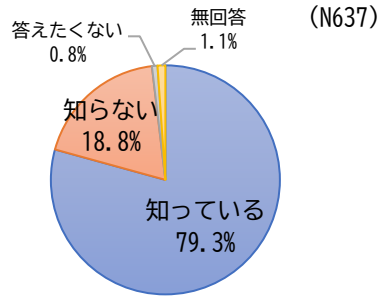


- 親子交流(面会交流)の実施について取り決めていない割合は、前回調査(H29年度)と比較して減少している
- 親子交流(面会交流)の実施について取り決めない理由は、4人に1人は親子交流に取り決めは不要という回答がある一方、3人に1人は親どうして会いたくないという回答が占めた

①ひとり親家庭生活実態調査

(就労支援の認知度が求職活動に与える影響について)

問9 就労支援・資格取得支援に関する事業を大津市が実施していることを知っていますか



問9 就労支援・資格取得支援に関する事業を大津市が実施していることを知っていますか

× 問8-4 あなたが求職活動をした際に支障になったことについて 【複数回答】 (%)

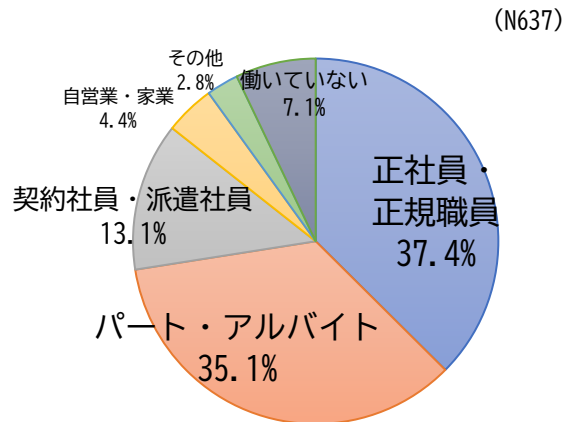
問9 \ 問8-4	な就業時が合わ	か特定のな	に小さい子ども問題が	か求人自体が少な	か適職がわからな	た年齢制限があつ	支援職の育成の	にあひり親家庭で	か職業経験が少な	わ資格・技能が合	ど気な相談先な	その他	な相談先がわから
知っている (N302)	34.8	28.5	16.9	15.2	11.6	11.3	10.3	9.6	8.6	8.3	7.9	4.0	3.6
知らない (N72)	34.7	16.7	19.4	9.7	9.7	9.7	19.4	8.3	9.7	4.2	12.5	2.8	8.3

- 就労支援・資格取得支援事業の認知度は全体で8割あり、事業を知っている方と知らない方で求職にあたって相談先、育児支援、求人情報がないという問題について回答に差が生まれている
- 特に問題がないという回答についても支援事業の認知度で差が生まれている。

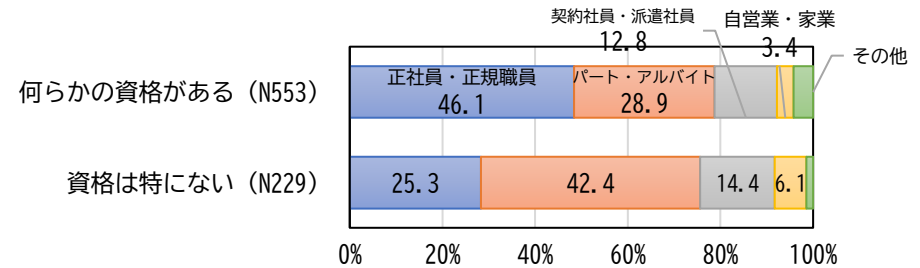
①ひとり親家庭生活実態調査

(資格の有無が雇用形態に与える影響について)

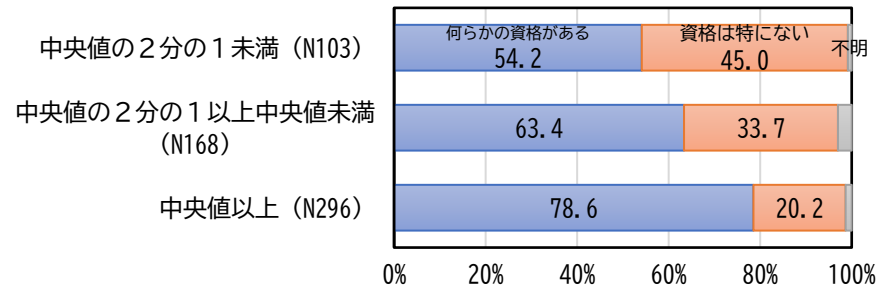
問8-1 あなたの現在の働き方について、あてはまるものは次のうちどれですか



問10-1 あなたが現在持っている資格について
× 問8-1 あなたの現在の働き方について



等価世帯収入区分
× 問8-1 あなたの現在の働き方について



- 現在の雇用形態が正社員・正規職員であると答えた方は4割弱で、パート・アルバイトがほぼ同数で続く
- 何らかの資格を有している方の約半数は正社員・正規職員であり、資格が特にない方と比較して20ポイント以上多かった
- 等価世帯収入区分別にみると、収入が比較的多い層ほど何らかの資格を有している割合が多い

②子どもの生活実態調査 (調査概要)

1 目的

保護者の方の子育てに関する実態や子どもたちの生活実態などを把握し、本市の子ども・子育て支援の施策や計画策定の基礎資料とするために実施する。

2 対象

市立小学校5年生及び中学校2年生並びにその保護者

※令和5年5月1日時点 小5児童：3,018人 中2生徒：3,051人

3 調査方法

電子アンケート形式

4 調査期間

令和5年9月15日（金）から令和5年10月31日（火）まで

5 回答数

児童・生徒：4,894件 保護者：3,039件

6 有効回収率

児童・生徒：80.6% 保護者：50.1%

②子どもの生活実態調査：設問内容 (子ども票1)

ねらい	設問属性	項目	H29 大津市調査	R2国 貧困調査	R3国 ヤングケアラー調査
	基本属性	はじめに 子ども票と保護者票のクロス集計のための識別番号			
		問1 同居人			○
子どもの貧困の連鎖リスクの把握と 周囲からの支援の検討	生活習慣	問2 本人の健康状態	○		○
		問3 就寝時間の規則性	○	○	
		問4 食事の頻度	○	○	
		問5 欠席・遅刻・早退の頻度	○		○
		問6 学校生活の状態			○
		問7 部活動、習い事等の有無	○	○	○
	学力・ 学習意欲	問8 学習習慣	○	○	
		問9 授業の理解度	○	○	
		問10 本人の悩み	○		○
	支援ニーズ	問11 相談相手の有無	○		○

②子どもの生活実態調査：設問内容 (子ども票2 家族のケアあり)

ねらい	設問属性	項目	H29 大津市調査	R2国 貧困調査	R3国 ヤングケアラー調査
ヤングケアラーの実態把握と 周囲からの支援の検討	ケアの実態	問12 家族の中にお世話している人の有無			○
		問13 お世話している人の続柄			○
		問14 お世話をしている理由			○
		問15 お世話の内容			○
		問16 お世話を一緒にしている人			○
	ケアによる 制限	問17 お世話の頻度			○
		問18 お世話の時間			○
		問19 お世話による影響（経験）			○
	支援ニーズ	問20 お世話を含めた悩み相談			○
		問21 お世話に関する相談先			○
		問22 自分が学校や周りの大人に求めること			○
		問23 相談の手段			○
自由記載	問24 自由記載		○	○	

②子どもの生活実態調査：設問内容 (子ども票2 家族のケアなし)

ねらい	設問属性	項目	H29 大津市調査	R2国 貧困調査	R3国 ヤングケアラー調査
		問12 家族の中にお世話している人の有無			○
潜在的なヤングケアラーの 実態把握と支援の検討	客観的な ケアの実態	問13 周囲のお世話に関する悩みの見聞き			
		問14 お世話をしている友人に対する言動			
		問15 お手伝いの内容			
	潜在的な ケアの実態	問16 お手伝いの頻度			
		問17 お手伝いの時間			
		問18 悩みの相談相手			
	支援ニーズ	問19 相談の方法			
		問20 自分に関係のあることについて、自由に意見を言う権利			
		問21 休んだり、遊んだりする権利			
		問22 安心できる場所			
自由記載	問23 自由記載	○			

②子どもの生活実態調査：設問内容 (保護者票1)

ねらい	設問属性	項目	H29 大津市調査	R2国 貧困調査	H30大津市 子ども・子育て 支援ニーズ調査	
子どもと保護者の関わり 子ども自身のことや	基本属性	はじめに	子ども票と保護者票のクロス集計のための識別番号			
		問1	回答者の年齢	○		○
		問2	子どもからみた続柄	○	○	○
		問3	同居家族	○	○	○
		問4	子どものきょうだいの人数	○		○
	子どもの体験	問5	子どもの塾や習い事の有無	○		○
		問6	子どもの体験	○		
	子どもの健康・ 生活習慣	問7	子どもの朝食の頻度	○	○	
		問8	子どもの夕食について	○	○	
		問9	子どもの健康状態	○	○	
		問10	子どもの虫歯の数	○		
	保護者と子ども の関わり	問11	保護者が子どもと過ごす時間	○		○
		問12	保護者と子どもの会話	○		
学校における 困難	問13	子どもと保護者が学校生活で対応が難しかったこと、不安なこと			○	

②子どもの生活実態調査：設問内容 (保護者票2)

ねらい	設問属性	項目	H29 大津市調査	R2国 貧困調査	H30大津市 子ども・子育て 支援ニーズ調査	
保護者や家庭の状況の把握	家庭の 経済状況	問14 住まいの状況	○			
		問15 保護者の働き方	○	○	○	
		問16 世帯収入	○	○	○	
		問17 現在の暮らし向き	○	○	○	
		問18 世帯で経済的な理由でした経験	○	○	○	
	保護者の心身の 健康状態	問19 子育てで感じる事				○
		問20 保護者の健康状態	○			
		問21 保護者の健康診断の受診	○			
		問22 保護者の朝食の頻度	○			
		問23 保護者の身体や気持ちで気になる所	○			
	地域の付き合い	問24 地域の付き合い	○			○
	子どもの進学	問25 子どもの教育費・進学費用の貯蓄状況	○			
		問26 保護者が希望する子どもの将来の進学先			○	
問27 進学にあたっての支障						

②子どもの生活実態調査：設問内容 (保護者票3)

ねらい	設問属性	項目	H29 大津市調査	R2国 貧困調査	H30大津市 子ども・子育て 支援ニーズ調査
保護者や家庭の状況の把握	支援の利用状況 やニーズ	問28 保護者が日常的に困っていること	○		
		問29 保護者の相談相手や相談先	○	○	○
		問30 保護者の手当や援助の受給歴	○	○	
		問31 子どもの学習支援について	○		
		問32 保護者が必要としている支援	○		
	自由記載	問33 自由記載	○		

②子どもの生活実態調査 (本速報における分析の方向性)

- **相対的貧困の影響**

等価世帯収入水準で区分した世帯別で、子どもとその保護者の生活実態を比較することで相対的貧困世帯の課題を読み取る

- **ヤングケアラーの実態把握**

家族のケアを担っている子どものうち、ケアに費やす時間や学校生活への影響度合いからケアラー状態の負担水準を設定し、量的な把握を行うとともに、ケアラーの相談先や抱える悩みについて読み取る。

②子どもの生活実態調査

(相対的貧困が子育て世帯の経験に与える影響について)

保護者 等価世帯収入区分

× 保護者 問18

あなたは経済的な理由で、次のような経験をしたことがありますか（おおむね半年の間）

【複数回答】 (%)

【小5】

問18	新しい衣服・靴を買った	理髪店・美容院に行く回数を減らした	趣味やレジャーの支出を減らした	友人・知人との外食を控えた	食事を切り詰めた	新聞や雑誌を買うのを控えた	生活の見通しが立たなくて不安になった	冷暖房の使用を控えた	滞った	国民年金の支払いが滞った	国民健康保険料の支払いが滞った	子ども部屋が欲しかったが用意できなかった	スマートフォンなどの通信料の支払いが滞った	電話（固定・携帯）などの通信料の支払いが滞った	どれも当てはまらない	クレジットカードの利用が停止になった	冠婚葬祭の付き合いを控えた	支払いが滞った	国民健康保険料の支払いが滞った	支払いが滞った	家賃や住宅ローンの支払いが滞った	医療機関を受診できなかった	冠婚葬祭の付き合いを控えた	電気・ガス・水道などが止められた	金融機関などに借金をした	住み替え・転居を断念した
中央値の2分の1未満 (N90)	61.1	50.0	47.8	41.1	37.8	22.2	22.2	21.1	13.3	12.2	8.9	7.8	7.8	6.7	5.6	5.6	5.6	4.4	4.4	3.3	3.3	3.3	3.3	3.3	3.3	3.3
中央値の2分の1以上中央値未満 (N481)	46.6	31.0	43.7	26.6	35.6	19.3	12.9	18.3	2.3	1.5	6.4	1.5	25.8	1.9	5.6	6.0	1.2	2.5	4.0	0.8	3.3	0.8	3.3	0.8	0.8	0.8
中央値以上 (N541)	28.7	15.5	22.7	11.5	17.2	10.9	2.0	8.5	0.2	0.2	2.8	0.4	51.4	0.7	2.4	4.1	0.2	0.2	0.9	0.2	0.2	0.2	0.2	0.7	-	-

【中2】

問18	新しい衣服・靴を買った	食事を切り詰めた	趣味やレジャーの支出を減らした	理髪店・美容院に行く回数を減らした	冷暖房の使用を控えた	友人・知人との外食を控えた	生活の見通しが立たなくて不安になった	新聞や雑誌を買うのを控えた	滞った	国民年金の支払いが滞った	国民健康保険料の支払いが滞った	子ども部屋が欲しかったが用意できなかった	スマートフォンなどの通信料の支払いが滞った	電話（固定・携帯）などの通信料の支払いが滞った	どれも当てはまらない	クレジットカードの利用が停止になった	冠婚葬祭の付き合いを控えた	支払いが滞った	国民健康保険料の支払いが滞った	支払いが滞った	家賃や住宅ローンの支払いが滞った	医療機関を受診できなかった	冠婚葬祭の付き合いを控えた	電気・ガス・水道などが止められた	金融機関などに借金をした	住み替え・転居を断念した	
中央値の2分の1未満 (N85)	55.3	50.6	49.4	44.7	32.9	31.8	29.4	28.2	14.1	12.9	10.6	9.4	8.2	8.2	8.2	7.1	5.9	5.9	4.7	4.7	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5
中央値の2分の1以上中央値未満 (N408)	50.7	35.5	45.3	32.4	22.1	28.4	12.3	23.5	21.8	4.9	9.3	4.4	3.2	2.9	3.7	2.2	2.2	1.0	3.7	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2
中央値以上 (N536)	28.4	19.6	24.1	17.0	11.4	11.0	3.0	11.6	45.7	2.1	4.7	4.3	0.4	0.7	1.3	0.4	0.2	0.2	0.9	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	1.9	1.9	

- 等価世帯収入区分で見ると、保護者の新しい衣服等の購入や美容院に行く回数を減らすといった、身なりを整えることに対する支出を減らした経験が、相対的低所得層に多くなる傾向にある
- また、食費(外食を含む)の切り詰めや冷暖房の使用を控えた経験が相対的低所得層に多くなる傾向にある

②子どもの生活実態調査

(相対的貧困が保護者が必要とする支援内容に与える影響について)

保護者 等価世帯収入区分

× 保護者 問32-1 あなたが現在必要としていること、重要だと思う支援などは何ですか 【複数回答】 (%)

【小5】

問32-1 等価世帯収入区分	義務教育以降の教育費の補助	食事等生活費の補助	義務教育までの教育費の補助	無償の学習支援	住居費の補助	医療費の補助	余暇に使える費用の支援	同じような悩みを持つ人との出会い	保育(児童クラブを含む)の充実	子どもの障害や病気への相談や支援	仕事があつせん	特にない	保護者の障害や病気への相談や支援	家事や育児の手伝い
中央値の2分の1未満 (N90)	57.8	47.8	44.4	42.2	32.2	25.6	14.4	8.9	8.9	7.8	6.7	6.7	3.3	3.3
中央値の2分の1以上中央値未満 (N481)	65.3	29.3	43.2	33.7	16.8	32.6	15.4	6.4	9.6	7.9	2.9	9.1	5.4	7.7
中央値以上 (N541)	49.4	10.5	26.8	20.0	7.9	21.4	9.2	5.4	14.2	6.8	2.2	18.9	1.5	10.2

(%)

【中2】

問32-1 等価世帯収入区分	義務教育以降の教育費の補助	食事等生活費の補助	無償の学習支援	義務教育までの教育費の補助	住居費の補助	医療費の補助	余暇に使える費用の支援	同じような悩みを持つ人との出会い	保育(児童クラブを含む)の充実	子どもの障害や病気への相談や支援	家事や育児の手伝い	仕事があつせん	特にない	保護者の障害や病気への相談や支援
中央値の2分の1未満 (N85)	61.2	50.6	37.6	31.8	30.6	22.4	17.6	10.6	9.4	9.4	5.9	4.7	3.5	3.5
中央値の2分の1以上中央値未満 (N408)	65.4	30.9	31.6	35.5	17.6	37.0	13.7	4.7	9.6	4.9	1.5	3.7	4.2	10.5
中央値以上 (N536)	52.2	9.3	19.0	20.1	5.0	27.8	7.6	6.0	8.2	7.3	2.1	4.7	3.7	21.3

- 等価世帯収入区分で見ると、食費等生活費、住居費、義務教育までの教育費の支援が必要だと考える方が、相対的低所得層に多くなる
- 一方、義務教育以降の教育費はどの層でも支援の必要性を感じており、医療費の補助については、準低所得者層が最も支援を必要としている割合が高い。

②子どもの生活実態調査

(相対的貧困区分別、保護者が支援を受けるのに支障に感じることにについて)

保護者 等価世帯収入区分 × 保護者 問32-2 あなたを感じる、支援を受けるにあたって支障となることは何ですか 【複数回答】

(%)

【小5】 等価世帯収入区分	問32-2	申請に手間がかかる	十分な情報がない	誰に相談していいかわからない	プライバシーを知られたくない	知らない人と出会うのに抵抗がある	利用条件が厳しすぎる	支援を行っていない場所が近所にある	利用に費用がかかる	利用する時間が無い	利用に費用がかかる	支援を受けることに抵抗がある
		中央値の2分の1未満 (N90)	47.8	38.9	35.6	23.3	13.3	13.3	12.2	11.1	10.0	6.7
中央値の2分の1以上中央値未満 (N481)	33.9	50.7	23.5	17.5	13.3	19.8	16.4	12.3	15.4	6.0		
中央値以上 (N541)	29.0	42.1	19.0	14.2	8.1	17.2	13.3	10.0	6.5	4.8		

(%)

【中2】 等価世帯収入区分	問32-2	十分な情報がない	申請に手間がかかる	誰に相談していいかわからない	プライバシーを知られたくない	知らない人と出会うのに抵抗がある	利用条件が厳しすぎる	支援を行っていない場所が近所にある	利用に費用がかかる	利用する時間が無い	利用に費用がかかる	支援を受けることに抵抗がある
		中央値の2分の1未満 (N85)	48.2	36.5	35.3	24.7	17.6	16.5	15.3	12.9	8.2	5.9
中央値の2分の1以上中央値未満 (N408)	45.6	38.5	20.6	28.4	18.9	13.5	14.2	12.0	7.4	5.4		
中央値以上 (N536)	41.8	27.2	18.5	20.1	18.1	9.9	5.6	10.8	9.7	3.2		

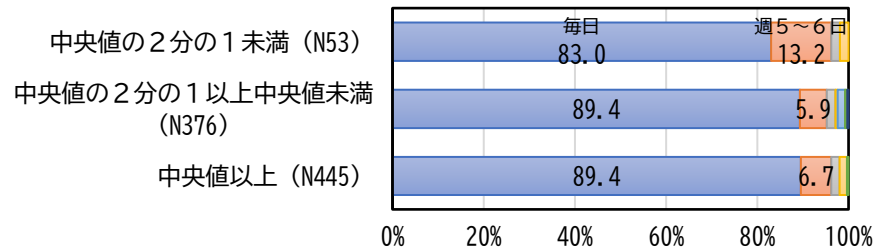
- 相対的低所得層であるほど、プライバシーや申請の手間が支援を受ける支障となっている
- どの層でも、4割から5割程度の方が十分な情報がないと感じている

②子どもの生活実態調査 (相対的貧困が子どもの食事に与える影響について)

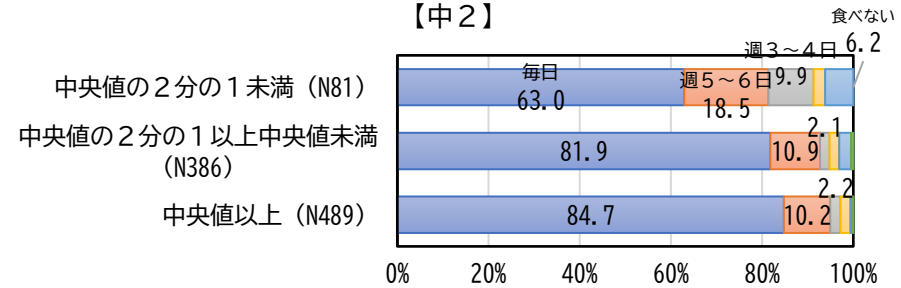
保護者 等価世帯収入区分 × 子ども 問4 あなたは週にどのくらい、食事をしていますか

①朝食について教えてください

【小5】



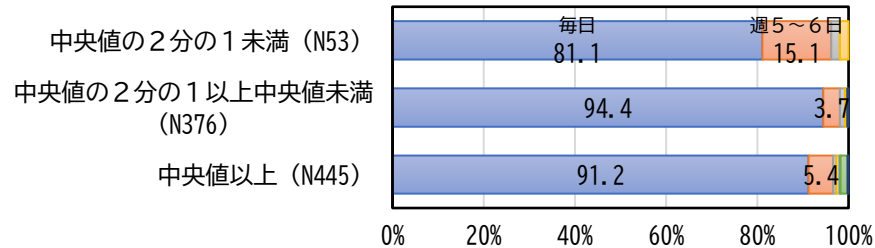
【中2】



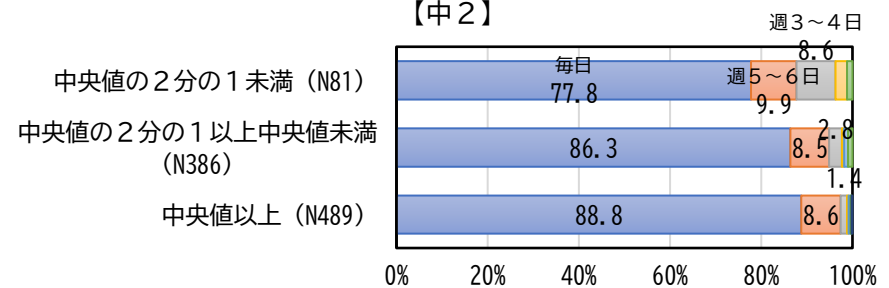
保護者 等価世帯収入区分 × 子ども 問4 あなたは週にどのくらい、食事をしていますか

③夏休みや冬休みなどの期間の昼食について教えてください

【小5】



【中2】



- 相対的低所得層であるほど、朝食や長期休暇中の欠食率が高くなっている
- 小学校5年生よりも、中学校2年生のほうが欠食する日があると回答する割合が多い

②子どもの生活実態調査

(相対的貧困が子どもの悩みの内容に与える影響について)

保護者 等価世帯収入区分 × 子ども 問10 あなたが悩んでいることはありますか【複数回答】

【小5】

(%) 【中2】

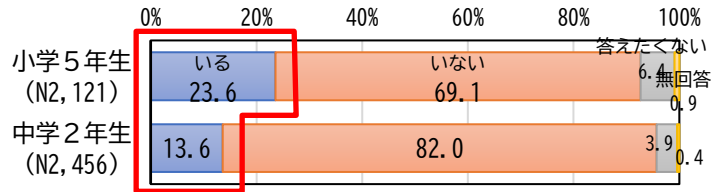
問10 等価世帯収入区分	嫌なことや悩んでいることはない	自分の見た目や体形など	答えたくない	友達	学校や勉強	自分の進学・進路	家庭	習い事	クラブ活動、部活動、
中央値の2分の1未満 (N53)	45.3	17.0	17.0	11.3	9.4	7.5	3.8	3.8	
中央値の2分の1以上中央値未満 (N376)	54.8	11.2	5.9	13.8	10.6	10.4	6.9	5.3	
中央値以上 (N445)	56.0	10.1	7.4	12.6	13.5	12.1	5.4	6.1	

問10 等価世帯収入区分	嫌なことや悩んでいることはない	自分の進学・進路	学校や勉強	自分の見た目や体形など	家庭	習い事	クラブ活動、部活動、	友達	答えたくない
中央値の2分の1未満 (N81)	34.6	33.3	29.6	22.2	14.8	14.8	14.8	14.8	12.3
中央値の2分の1以上中央値未満 (N386)	39.4	34.7	32.6	14.2	5.4	14.0	11.9	4.1	
中央値以上 (N489)	36.8	36.0	33.5	19.2	7.2	17.8	12.7	5.9	

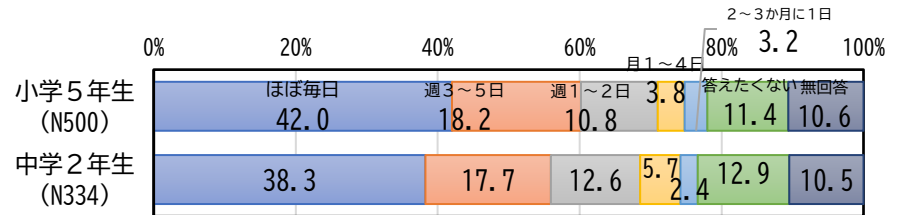
- 小学校5年生では、相対的低所得層であるほど自分の見た目や体形が悩みである割合が高く、悩みについて答えたくないと回答する割合も高い
- 一方、勉強や進路のことになると、相対的に所得が高い層が悩んでいる割合が高い
- 中学校2年生では、相対的低所得層が家庭について悩む割合が高く、学校や勉強、自分の進路についてはいずれの層もおおよそ3人に1人の割合で悩んでいる
- 自分の見た目や体形に悩む割合は、小学校5年生よりも高くなっている

②子どもの生活実態調査 (家族のケアの有無や状況について)

子ども 問12 家族の中にあなたがお世話をしている人、またはあなたがお世話をしないと困る人はいますか



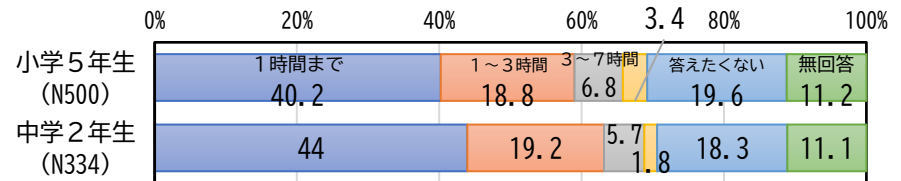
子ども 問17 あなたは、どれくらいお世話をしていますか



子ども 問13 あなたがお世話をしている人はだれですか 【複数回答】 (%)

	きょうだい	お母さん	お父さん	おばあさん	おじいさん
小学5年生 (N500)	50.0	33.4	23.2	11.2	5.2
中学2年生 (N334)	43.1	31.4	18.9	8.1	4.5

子ども 問18① あなたは、平日（学校がある日）1日で何時間くらいお世話をしていますか



子ども 問15 あなたはどんなお世話をしていますか 【複数回答】 (%)

	掃除、洗濯、お風呂、食事の用意	えきやう送迎	うゑに守る	話を聞く	に買物や散歩	しのお話やトイ	を金の使い方	をた手通しを頼る	行病院に一緒に	ど語通訳、手話、日本語
小学5年生 (N500)	36.2	26.2	25.2	21.2	20.8	19.0	11.0	3.8	3.0	1.4
中学2年生 (N334)	43.7	22.2	26.3	22.2	21.9	21.6	6.0	3.3	2.7	0.6

- お世話の対象者はきょうだい、母、父の順で、世話の内容はご飯の用意や掃除、洗濯といった家事全般が最も多い
- お世話の日数は週3日以上、平日1日のお世話の時間は3時間以内が半数以上を占める。時間については2割弱が答えたくないと回答している。

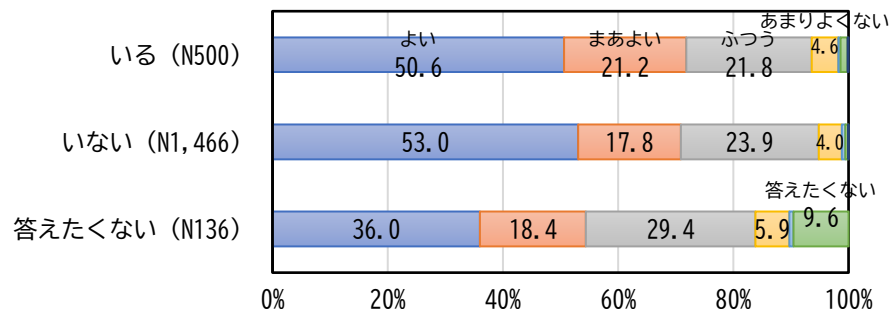
②子どもの生活実態調査

(家族のケアの有無やケアに費やす時間が子どもの健康状態に与える影響について)

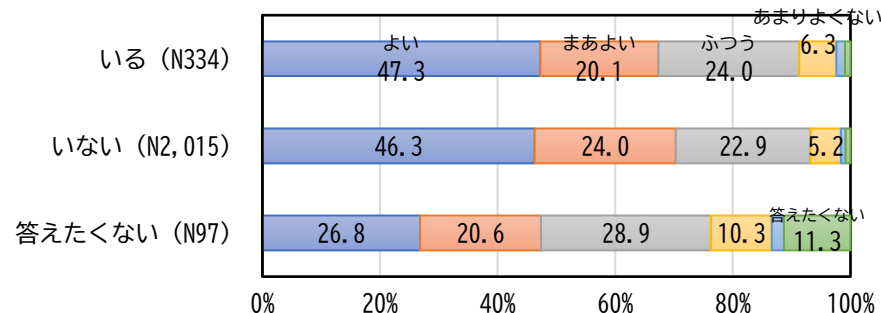
子ども 問12 家族の中にあなたがお世話をしている人、またはあなたがお世話をしないと困る人はいますか

× 子ども 問2 あなたの健康状態について教えてください

【小5】



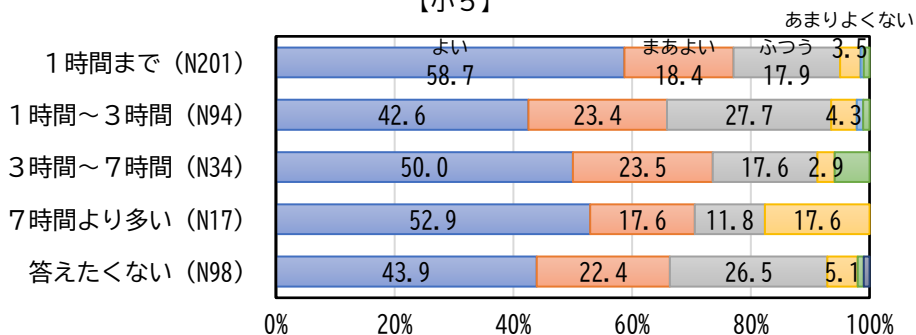
【中2】



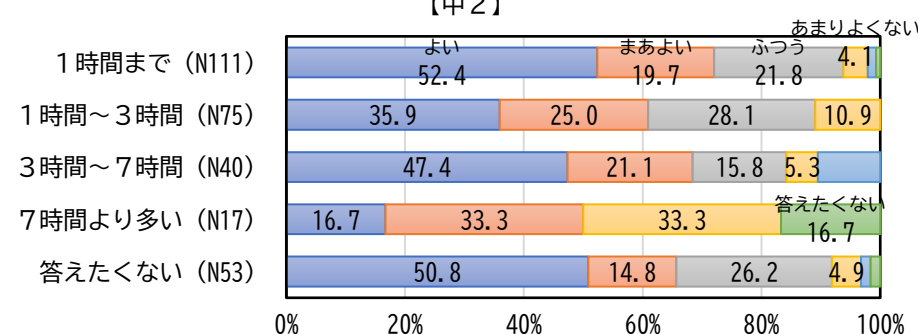
子ども 問18① あなたは、平日（学校がある日）1日で何時間ぐらいお世話をしていますか

× 子ども 問2 あなたの健康状態について教えてください

【小5】



【中2】



- 家族のケアの有無やケアに費やす時間について、答えたくないと回答した場合は健康状態について「よい」または「まあよい」と回答した割合が減り、こちらも「答えたくない」の割合が増えている

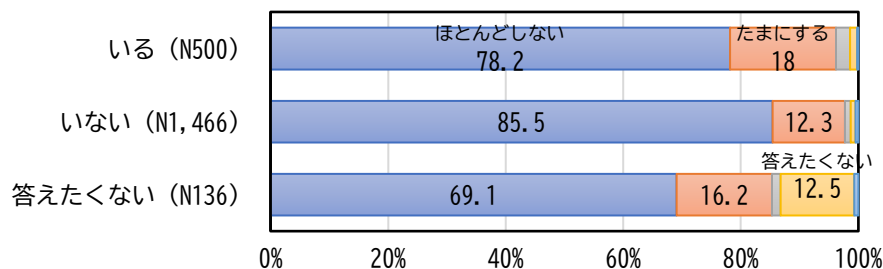
②子どもの生活実態調査

(家族のケアの有無やケアに費やす時間が学校欠席状況に与える影響について)

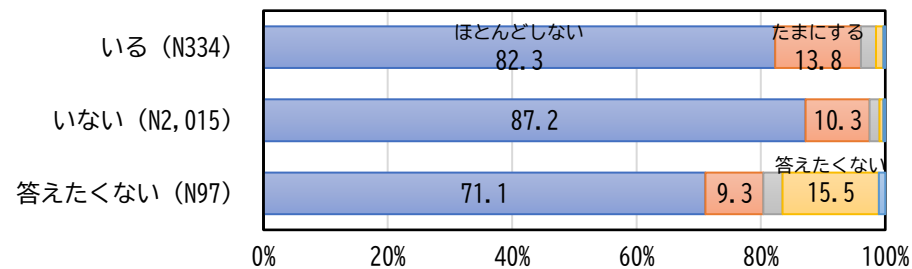
子ども 問12 家族の中にあなたがお世話をしている人、またはあなたがお世話をしないと困る人はいますか

× **子ども** 問5① あなたは学校を休むことがありますか

【小5】



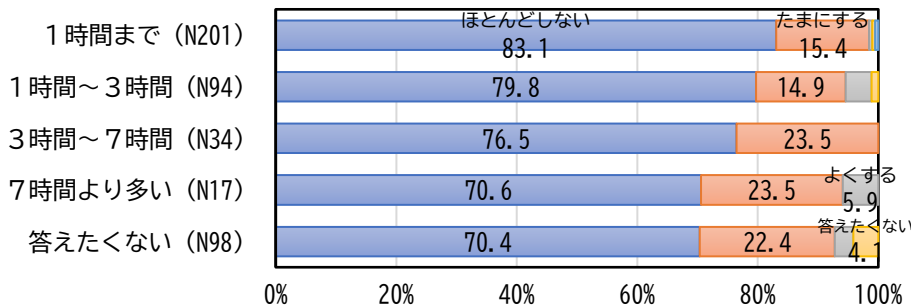
【中2】



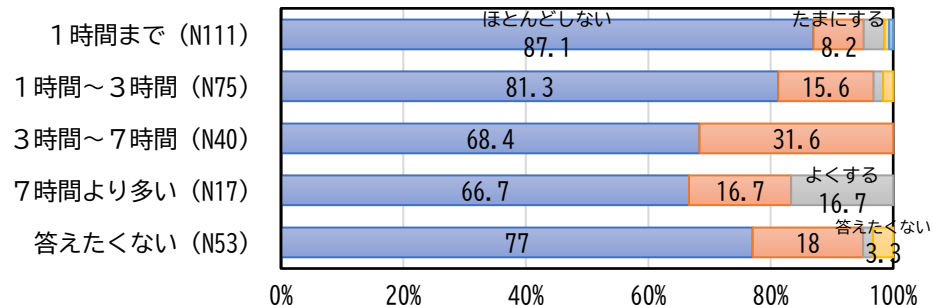
子ども 問18① あなたは、平日（学校がある日）1日で何時間ぐらいお世話をしていますか

× **子ども** 問5① あなたは学校を休むことがありますか

【小5】



【中2】



- 家族のケアの有無について、ケアをする家族が「いる」と答えた場合は、「いない」と答えた場合よりも学校をほとんど欠席しない割合がわずかに減る。「答えたくない」と答えた場合は大幅に減り、答えたくないという回答が増える
- 平日家族のケアに費やす時間について、時間が伸びるほど学校をほとんど欠席しない割合が減る傾向にある
- 平日家族のケアに費やす時間が3時間を超えると、学校の欠席有無に与える影響が大きくなるように読み取れる

②子どもの生活実態調査

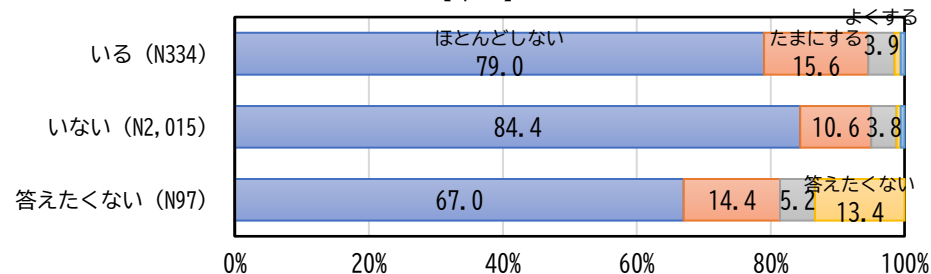
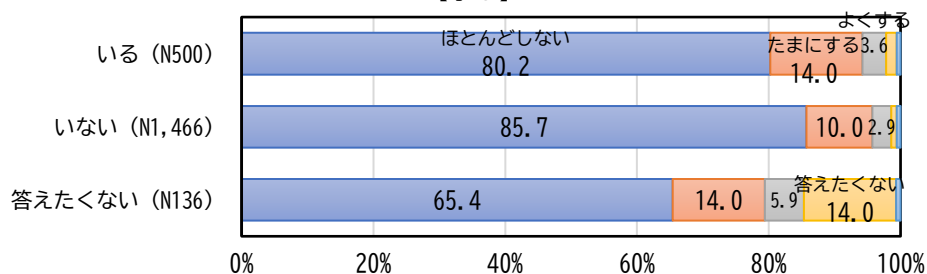
(家族のケアの有無やケアに費やす時間が学校の遅刻・早退状況に与える影響について)

子ども 問12 家族の中にあなたがお世話をしている人、またはあなたがお世話をしないと困る人はいますか

× 子ども 問5② あなたは学校におくれて行ったり、早く帰ったりすることがありますか

【小5】

【中2】

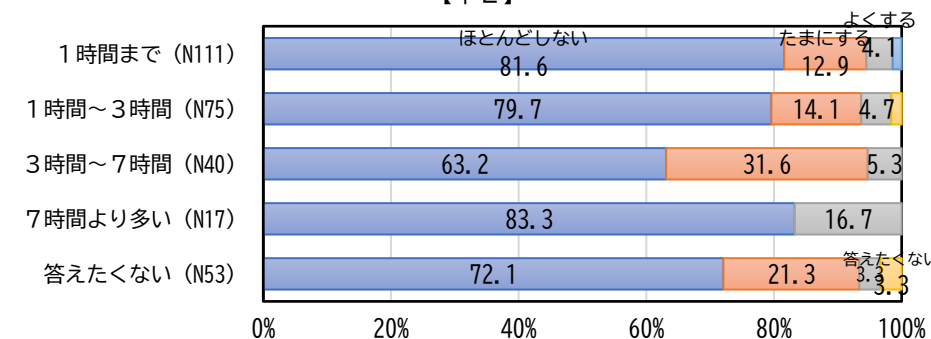
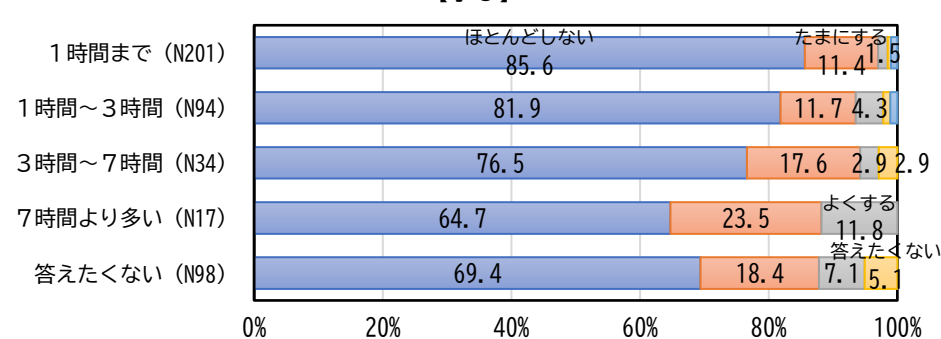


子ども 問18① あなたは、平日（学校がある日）1日で何時間ぐらいお世話をしていますか

× 子ども 問5② あなたは学校におくれて行ったり、早く帰ったりすることがありますか

【小5】

【中2】



- 家族のケアの有無について、ケアをする家族が「いる」と答えた場合は、「いない」と答えた場合よりも学校をほとんど遅刻・早退しない割合がわずかに減る。また、「答えたくない」と答えた場合は大幅に減る
- 平日家族のケアに費やす時間について、時間が伸びるほど学校を遅刻・早退しない割合が減る傾向にある
- ケアに費やす時間が3時間を超えると、学校の遅刻・早退有無に与える影響が大きくなるように読み取れる

②子どもの生活実態調査

(家族のケアの有無が学校生活に与える影響について)

子ども 問12 家族の中にあなたがお世話をしている人、またはあなたがお世話をしないと困る人はいますか
 × 子ども 問6 ふだんの学校生活の中で、あなたにあてはまること【複数回答】

【小5】

問12 \ 問6	(%)											
	特 に な い	れ持 物ち が物 多の い忘	いるす この出 とが物 が遅を 多れ出	とて宿 が い題 多なが いいで こき	こ人学 とで校 が過で 多ごは いす一	とて授 がし業 が多中 ま中 いうこ こ寝	間だ友 がり達 少喋と なる遊 い時ん	多ご保 いす健 こ室 とで が過	こい部 と事活 がを動 多休や いむ習	事ど修校 をの学外 休宿旅学 む泊行習 行なや		
いる (N500)	46.2	30.2	17.8	15.6	7.6	7.2	6.8	2.4	1.6	0.6		
いない (N1,466)	58.2	24.9	13.6	11.5	6.4	4.8	5.0	1.0	2.5	0.3		

【中2】

問12 \ 問6	(%)											
	特 に な い	れ持 物ち が物 多の い忘	とて授 がし業 多ま中 いうこ こ寝	とて宿 が い題 多なが いいで こき	こい部 と事活 がを動 多休や いむ習	こ人学 とで校 が過で 多ごは いす一	間だ友 がり達 少喋と なる遊 い時ん	多ご保 いす健 こ室 とで が過	こい部 と事活 がを動 多休や いむ習	事ど修校 をの学外 休宿旅学 む泊行習 行なや		
いる (N334)	35.9	29.6	28.7	26.3	24.3	14.4	6.0	5.7	2.4	0.9		
いない (N2,015)	47.1	22.2	19.4	21.9	18.7	11.8	6.2	5.4	1.7	0.5		

- 家族のケアの有無が学校生活に与える影響についてみると、ケアをする家族が「いる」と答えた場合は、「授業中に寝てしまうことが多い」、「宿題ができていないことが多い」、「持ち物の忘れ物が多い」、「提出物を出すのが遅れることが多い」の割合が増える傾向にある
- 小学校5年生、中学校2年生ともに、「特にない」と回答した割合が最も高い

②子どもの生活実態調査

(家族のケアの有無が子どもの悩みの内容に与える影響について)

子ども 問12 家族の中にあなたがお世話をしている人、またはあなたがお世話をしないと困る人はいますか
 × 子ども 問10 あなたが悩んでいることはありますか。【複数回答】

【小5】 (%)								【中2】 (%)							
問12 \ 問10	こ悩嫌 とんな はでこ ない いるや	学 校や 勉 強	友 達	ど目自 や分 の形 見 な た	学自 ・分 の 路 進	家 庭	動動ク 、ラ 、習部 、習部 、活 活 事	問12 \ 問10	学 校や 勉 強	学自 ・分 の 路 進	こ悩嫌 とんな はでこ ない いるや	ど目自 や分 の形 見 な た	動動ク 、ラ 、習部 、習部 、活 活 事	友 達	家 庭
いる (N500)	47.6	17.2	14.4	13.0	12.8	10.2	6.6	いる (N334)	38.3	33.5	27.2	18.0	15.9	14.4	13.8
いない (N1,466)	57.4	11.4	11.7	10.6	10.2	4.8	5.9	いない (N2,015)	32.1	35.4	40.0	16.7	14.8	12.0	7.2

子ども 問18① あなたは、平日（学校がある日）1日で何時間ぐらいお世話をしていますか
 × 子ども 問10 あなたが悩んでいることはありますか。【複数回答】

【小5】 (%)								【中2】 (%)							
問18① \ 問10	こ悩嫌 とんな はでこ ない いるや	学 校や 勉 強	学自 ・分 の 路 進	友 達	ど目自 や分 の形 見 な た	動動ク 、ラ 、習部 、習部 、活 活 事	家 庭	問18① \ 問10	学自 ・分 の 路 進	学 校や 勉 強	こ悩嫌 とんな はでこ ない いるや	ど目自 や分 の形 見 な た	動動ク 、ラ 、習部 、習部 、活 活 事	友 達	家 庭
1時間まで (N201)	58.7	14.4	10.0	9.0	7.5	5.0	4.0	1時間まで (N111)	35.4	34.0	29.3	17.7	14.3	10.9	8.8
1時間～3時間 (N94)	47.9	16.0	10.6	18.1	14.9	8.5	10.6	1時間～3時間 (N75)	32.8	43.8	29.7	15.6	14.1	14.1	15.6
3時間～7時間 (N34)	32.4	20.6	26.5	20.6	23.5	8.8	20.6	3時間～7時間 (N40)	26.3	42.1	21.1	26.3	26.3	15.8	36.8
7時間より多い (N17)	23.5	41.2	17.6	52.9	29.4	23.5	35.3	7時間より多い (N17)	50.0	66.7	16.7	66.7	33.3	50.0	50.0

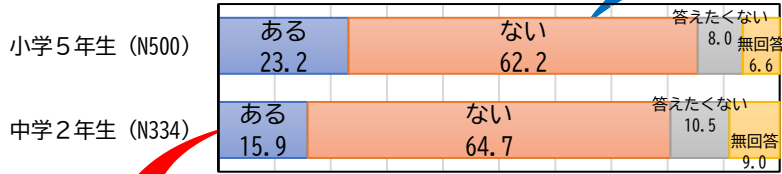
- 家族のケアの有無が子どもの悩みの内容に与える影響についてみると、ケアをする家族が「いる」と答えた場合は、家庭、学校や勉強について悩んでいると回答した割合が多い傾向にあり、中学校2年生は3人に1人が学校や勉強について悩んでいると回答している
- 子どもの悩みの内容を家族のケアに費やす時間別にみると、ケアの時間が長くなればなるほど、家庭、学校や勉強、自分の見た目や体形、友達について悩んでいる割合が増える傾向にある

②子どもの生活実態調査

(家族のケアを行う子どもの相談有無と相談相手について)

子ども 問20 あなたは、お世話をしている家族のことや、お世話で困っていることをだれかに相談したことはありますか

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



問20で相談したことが「ある」と答えた方について

子ども 問21-1 だれに相談したことがありますか【複数回答】 (%)

(相談あり) 相談した相手	家族	友達	学校の先生	親戚	答えたくない	近所の人	保健室の先生	スクールカウンセラー	病院の人	家に来る世話人	ヘルパー等	市役所の人
小学5年生 (N116)	86.2	25.9	16.4	11.2	6.9	5.2	3.4	1.7	1.7	0.9	0.9	
中学2年生 (N53)	84.9	22.6	13.2	9.4	7.5	1.9	1.9	-	-	-	-	

子ども 問23 どのような方法で話をしたり相談したりしたいですか。(どのような方法であれば相談しやすいですか。)【複数回答】 (%)

(相談あり) 希望する相談手段 相談しやすい手段	直接会って	SNS	電話	答えたくない	電子メール	無回答	その他
小学5年生 (N116)	74.1	17.2	16.4	8.6	4.3	3.4	1.7
中学2年生 (N53)	67.9	28.3	15.1	9.4	3.8	5.7	1.9

問20で相談したことが「ない」と答えた方について

子ども 問21-3 相談していない理由【複数回答】 (%)

	困相 つ談 する ない ほど	も相 変談 わして ない 何	い誰 いにか わ相談 かして らて	話家 族の した こと を	相 談 で き な い 人
小学5年生 (N311)	64.6	4.8	4.2	3.2	2.3
中学2年生 (N216)	67.6	10.2	4.2	1.4	2.3

子ども 問21-2 相談するならだれに相談したいですか【複数回答】 (%)

(相談なし) 相談したい相手	家族	友達	学校の先生	いない	親戚	答えたくない	保健室の先生	スクールカウンセラー	近所の人	市役所の人	病院の人	ヘルパー等 家に来る世話人
小学5年生 (N351)	65.2	26.8	10.8	9.4	9.1	6	2.6	1.7	1.7	1.1	0.9	0.9
中学2年生 (N251)	57.4	32.7	12	12.7	8.4	8	2.8	2.8	-	0.4	0.4	-

子ども 問23 どのような方法で話をしたり相談したりしたいですか。(どのような方法であれば相談しやすいですか。)【複数回答】 (%)

(相談なし) 希望する相談手段 相談しやすい手段	直接会って	電話	SNS	答えたくない	無回答	電子メール	その他
小学5年生 (N351)	63.5	17.9	14.0	14.0	6.8	4.6	2.0
中学2年生 (N251)	60.6	17.1	29.1	15.5	2.4	4.8	1.2

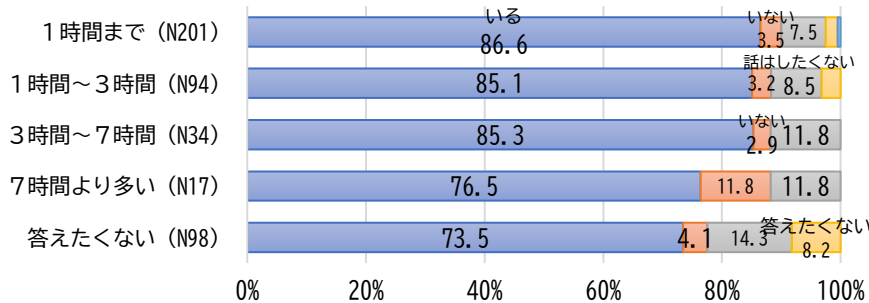
②子どもの生活実態調査

(家族のケアに費やす時間別、相談相手の有無について)

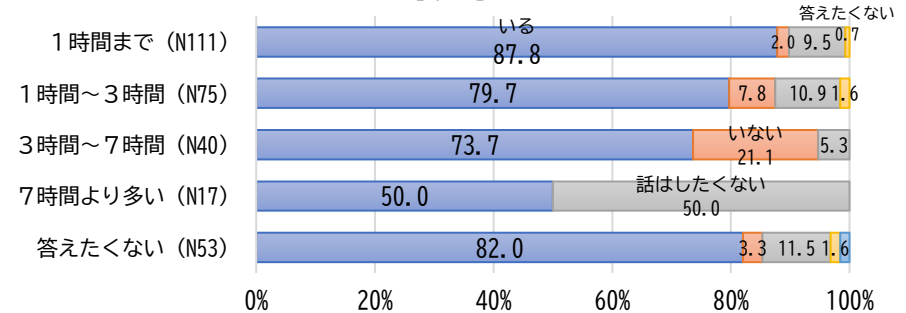
子ども 問18① あなたは、平日（学校がある日）1日で何時間ぐらいお世話をしていますか

× 子ども 問11 あなたに困っていることや悩みごとがあるとき、話を聞いてくれる人はいますか

【小5】



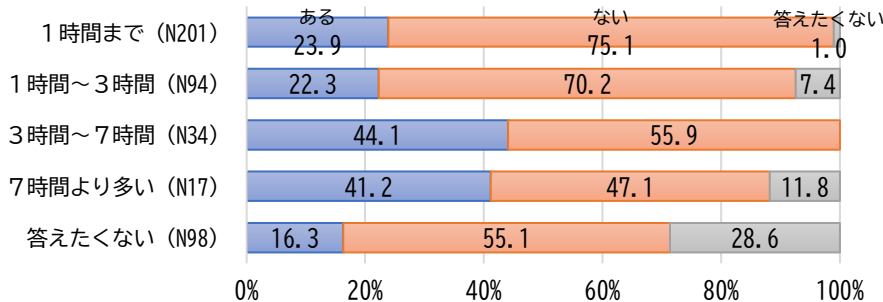
【中2】



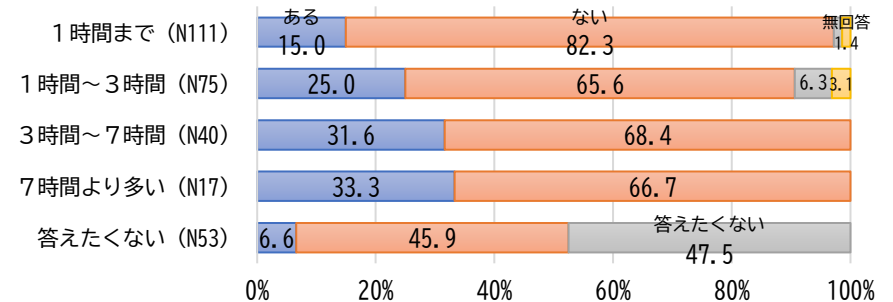
子ども 問18① あなたは、平日（学校がある日）1日で何時間ぐらいお世話をしていますか

× 子ども 問20 あなたは、お世話をしている家族のことや、お世話で困っていることをだれかに相談したことはありますか

【小5】



【中2】



- 家族のケアに費やす時間が、悩み事の相談相手の有無やケアに関する相談経験の有無に与える影響についてみると、ケアの時間が長くなるにつれて、悩み事の相談相手がいると答えた割合が少なくなる傾向にある
- 相談相手はいるが、相談した経験については比較的低い傾向にある(相談するほど困っていないと考えていると推測される)

②子どもの生活実態調査

(家族のケアに費やす時間が、子どものやりたくてもできないことに与える影響について)

子ども 問18① あなたは、平日（学校がある日）1日で何時間ぐらいお世話をしていますか
 × 子ども 問19 お世話をしていることで、あなたがやりたくてもできていないこと【複数回答】

(%)

【小5】 問18① \ 問19	特 に な い	自 分 の 好 ま い な こ と を す る	し つ か り 寝 る	友 達 と 遊 ぶ	毎 日 学 校 に 行 く	宿 題 や 勉 強 の 時 間 を 作 る	習 い 事 に 行 く	学 校 に 遅 刻 に 来 る
1時間まで (N201)	72.6	11.4	7.5	6.5	5.0	4.5	2.5	2.0
1時間～3時間 (N94)	52.1	26.6	11.7	11.7	7.4	14.9	8.5	5.3
3時間～7時間 (N34)	58.8	38.2	14.7	14.7	2.9	17.6	8.8	5.9
7時間より多い (N17)	41.2	41.2	11.8	23.5	11.8	11.8	5.9	5.9

(%)

【中2】 問18① \ 問19	特 に な い	自 分 の 好 ま い な こ と を す る	宿 題 や 勉 強 の 時 間 を 作 る	友 達 と 遊 ぶ	し つ か り 寝 る	毎 日 学 校 に 行 く	習 い 事 に 行 く	学 校 に 遅 刻 に 来 る
1時間まで (N111)	64.6	19.0	10.2	8.2	7.5	6.1	2.0	0.7
1時間～3時間 (N75)	50.0	28.1	14.1	12.5	12.5	1.6	-	3.1
3時間～7時間 (N40)	52.6	42.1	5.3	26.3	21.1	-	-	5.3
7時間より多い (N17)	33.3	50.0	33.3	16.7	16.7	-	-	-

- 家族のケアに費やす時間が、子どものやりたくてもできないことに与える影響についてみると、ケアの時間が長くなるにつれて、「友達と遊ぶ」、「自分の好きなことをする」と答えた割合が増える傾向にある

③子ども・若者支援ニーズ調査：概要

1 目的

子育て世帯の保護者の子育て支援サービスの利用状況や希望及び若者の生活状況や考え並びに子どもをもつことに対する意識を把握し、本市の子ども・子育て支援の施策や少子化対策に関する計画策定の基礎資料とするために実施する。

2 対象

令和5年4月1日時点大津市在住の未就学児童（0～5歳）保護者、
小学校1～3年生児童（6～8歳）保護者及び15～39歳の若者

※ 未就学：5,000人 小学生：3,000人 若者：2,000人 合計10,000人

3 調査方法

郵送回答又はWeb回答（併用）

4 調査期間

令和5年11月20日（月）から令和5年12月15日（金）まで

5 回答数

未就学児童保護者：2,539件 小学生児童保護者：1,610件 若者：508件

6 有効回収率

未就学児童保護者：50.9% 小学生児童保護者：53.7% 若者：25.6%

③子ども・若者支援ニーズ調査：設問内容 (未就学児童保護者票1)

あて名のお子さんご家族の状況について		ねらい	H30調査項目
必 問1	居住学区	回答者とその家庭の 基本属性の把握	○
必 問2	子どもの生年月、きょうだいの人数		○
必 問3	回答者の子どもから見た続柄		○
問4	回答者の年齢		○
必 問5	回答者の配偶関係		○
問6	回答者の世帯構成		○
必 問7	子どもの保護者の就労状況（現在と1年後の見込み）		○
問8	回答者の世帯の年間総収入		○
問9	回答者が感じる経済的な暮らし向き		○

あて名のお子さんのふだんの様子について		ねらい	H30調査項目
新 問10	食事や睡眠の時間	子どもの生活習慣	○
問11	生活習慣で気になること		○
問12	子どもの習い事等の実施状況		○

子育てに対する考え方や悩みなどについて		ねらい	H30調査項目
問13	子育てで大切にしていること	家庭や子育ての 悩みの実態、相談 ニーズの把握	○
問14	子育てに対する幸福感や負担感		○
新 問15	日常的な困りごと		○
問16	子育てに関する相談先の有無		○
L 問16-1	相談先がある場合の相手		○
L 問16-2	相談先がない場合の理由		○
問17	相談先のニーズ		○

あて名のお子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について		ねらい	H30調査項目
必 問18	平日の定期的な教育・保育事業利用の有無	日常的な施設利用の 実態把握	○
必 L 問18-1	利用種別、日数、時間		○
L 問18-2	利用している地域		○
L 問18-3	利用しない理由		○

あて名のお子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用希望について		ねらい	H30調査項目
必 問19	平日の定期的な教育・保育事業利用の希望と年齢	日常的な 教育・保育事業の ニーズ把握	○
L 問19-1	施設選択で重視する点		○
L 問19-2	利用を希望する地域		○
必 問20	幼稚園の利用希望の強さ		○

あて名のお子さんの土曜や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について		ねらい	H30調査項目
必 問21	土日・祝日の定期的な教育・保育事業利用の希望	休日の 教育・保育事業の ニーズ把握	○
L 問21-1	たまに利用したい理由		○
必 問22	長期休暇中の定期的な教育・保育事業利用の希望		○
L 問22-1	たまに利用したい理由		○

あて名のお子さんの病気等の際の対応について		ねらい	H30調査項目
必 問23	病気やけがによって定期的な利用ができなかった経験の有無	病児保育事業の ニーズ把握	○
必 L 問23-1	利用できなかった場合の対応		○
必 L 問23-2	病児・病後児保育事業の利用希望		○
L 問23-3	病児・病後児保育事業の利用希望の理由		○

あて名のお子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について		ねらい	H30調査項目
必 問24	不定期の一時預かり等の利用の有無	一時預かり・宿泊を 伴う預かりのニーズ 把握	○
必 問25	預かり事業の利用希望		○
必 L 問25-1	利用目的と年間の利用希望日数	就労状況によらない 通園制度のニーズ把握	○
必 問26	宿泊を伴う預かり事業の利用希望		○
必 L 問26-1	ショートステイの利用希望		○

あて名のお子さんの就学後の放課後等の預かりサービスの利用について		ねらい	H30調査項目
問27	子どもの就学に対する不安	将来的な 放課後の預かりの ニーズ把握	○
問28	子どもの就学後の放課後の利用見込み		○
必 L 問28-1	子どもの就学後の放課後に利用したい預かりサービス		○
問29	就学後の休日に利用したい預かりサービスの有無		○
問30	放課後子ども教室の利用希望		○

③子ども・若者支援ニーズ調査：設問内容 (未就学児童保護者票2)

育児休業や短時間勤務制度等、職場の両立支援制度について		ねらい	H30調査項目
問31	子どもと過ごす時間の長さ	育児休業取得の実態把握 仕事と子育ての両立のためのニーズ	○
問32	保護者の育児休業の取得状況		○
↳問32-1	職場復帰の希望時期		○
↳問32-2	育児休業の取得期間（希望と現実）		○
↳問32-3	育児休業の取得期間が希望と現実で異なる理由		○
問33	仕事を子育ての両立のために企業に期待すること		○

地域における子育て支援や大津市の子育て支援サービスについて		ねらい	H30調査項目
問34	近所付き合いの程度	地域交流の実態把握 地域の子育て支援拠点事業のニーズ把握	○
問35	地域の子どもたちに関わる活動や保護者同士の交流		○
必 問36	地域子育て支援拠点事業等の利用有無		○
必 問37	地域子育て支援拠点事業等の利用希望		○

子どもを持つことに対する考えについて		ねらい	H30調査項目
新 問38	子どもを持つ理由	子どもを持つことに対する意識調査	
新 問39	理想子ども人数と予定子ども人数		
新 ↳問39-1	理想の子どもの数に近づけるために必要な施策		

大津市の子ども・若者支援施策について		ねらい	H30調査項目
新 問40	子ども・若者支援施策に対する満足度と重要度	現行計画の評価	

自由記載

③子ども・若者支援ニーズ調査：設問内容 (小学生児童保護者票)

あて名のお子さんご家族の状況について		ねらい	H30調査項目
必 問1	居住学区	回答者とその家庭の 基本属性の把握	○
必 問2	子どもの生年月、きょうだいの人数		○
必 問3	回答者の子どもから見た続柄		○
問4	回答者の年齢		○
必 問5	回答者の配偶関係		○
問6	回答者の世帯構成		○
必 問7	子どもの保護者の就労状況（現在と1年後の見込み）		○
問8	回答者の世帯の年間総収入		○
問9	回答者が感じる経済的な暮らし向き		○

あて名のお子さんの心だんの様子について		ねらい	H30調査項目
新 問10	食事や睡眠の時間	子どもの生活習慣や 実体験の把握	○
問11	子どもの生活習慣の状況		○
問12	子どもの習い事等の実施状況		○
問13	子どもの好きな遊び		○
新 問14	子どもの自然体験、文化的体験等の有無		○

子育てに対する考え方や悩みなどについて		ねらい	H30調査項目
問15	子育てで大切にしていること	家庭や子育ての 悩みの実態、相談 ニーズの把握	○
問16	子育てに対する幸福感や負担感		○
新 問17	日常的な困りごと		○
問18	子どもの就学に対する不安		○
問19	子育てに関する相談先の有無		○
└問19-1	相談先がある場合の相手		○
└問19-2	相談先がない場合の理由		○
問20	相談先のニーズ		○

子どもの意見を尊重することについて		ねらい	H30調査項目
新 問21	子どもの意見表明の機会の有無	子どもの意見表明に 関する実態把握	○
新 問22	子どもの意見表明に有効だと思うこと		○

あて名のお子さんの放課後の預かりサービスの利用について		ねらい	H30調査項目
必 問23	放課後の預かりサービスの利用有無	日常的、休日の 放課後の預かりの 実態、ニーズの把握	○
必 └問23-1	利用している預かりサービスの種類		○
└問23-2	預かりサービスを利用している理由		○
必 問24	今後の預かりサービスの利用希望の有無		○
必 └問24-1	利用を希望する預かりサービスの種類と期間		○
└問24-2	放課後児童クラブの利用を希望する理由		○
問25	土日・祝日、長期休暇中の放課後児童クラブの利用希望		○
新 問26	児童クラブに求めること		○
問27	放課後子ども教室の利用希望		○
必 問28	子どもの病気やけがによって登校できなかった経験の有無		○
必 └問28-1	登校できなかった場合の対応	○	
新 └問28-2	病児・病後児保育事業の利用希望	○	
新 └問28-3	病児・病後児保育事業の利用希望の理由	○	

子どもと過ごす時間や職場の両立支援制度について		ねらい	H30調査項目
問29	子どもと過ごす時間の長さ	仕事と子育ての両立 のためのニーズ	○
問30	仕事を子育ての両立のために企業に期待すること		○

地域における子育て支援や大津市の子育て支援サービスについて		ねらい	H30調査項目
問31	近所付き合いの程度	地域交流の実態把握	○
問32	地域の子どもたちに関わる活動や保護者同士の交流		○

子どもを持つことに対する考えについて		ねらい	H30調査項目
新 問33	子どもを持つ理由	子どもを持つことに 対する意識調査	○
新 問34	理想子ども人数と予定子ども人数		○
新 └問34-1	理想の子どもの数に近づけるために必要な施策		○

大津市の子ども・若者支援施策について		ねらい	H30調査項目
新 問35	子ども・若者支援施策に対する満足度と重要度	現行計画の評価	○

自由記載

③子ども・若者支援ニーズ調査：設問内容 (若者票)

あなたやあなたのご家族について		ねらい	H30調査項目
問1	回答者の性別	回答者の基本属性の把握	○
問2	回答者の年齢		○
問3	居住学区		○
問4	回答者の世帯構成		○

あなたの普段の生活について		ねらい	H30調査項目
問5	就寝時間と起床時間	生活習慣や悩みの相談先の実態把握	○
問6	生活習慣の状況		○
問7	悩みの相談先		○
問8	外出の状況		○
問8-1	外出の状況の期間	外出状況(引きこもり状態)の把握	○
問8-2	外出の状況のきっかけ		○

あなたのこれまでの経験や考え方について		ねらい	H30調査項目
問9	子どもの頃に好きでよくしていた遊び	子どもの頃の経験の把握	○
問10	子どもの頃の家庭での経験		○
問11	子どもの頃の地域での経験	若者の意識や態度の把握	○
問12	自分自身のことについてあてはまること		○

就労について		ねらい	H30調査項目
問13	現在の就労状況	就労状況の実態把握	○
問13-1	現在の雇用形態についての悩み		○
問13-2	現在の雇用形態のままでよいと考える理由		○
問13-3	将来の就職についての考え方		○
問13-4	働いていない理由		○
問13-5	働く条件	就労や進学意識の把握	○

あなたの家族や周囲との関わりについて		ねらい	H30調査項目
問14	家庭の意味	周囲との人間関係の実態把握	○
問15	親友の有無		○
問15-1	親友との知り合い方		○
問16	あなたの近所づきあいの状況	地域活動への参加状況の把握	○
問17	地域活動への参加状況		○
新 問18	今後の地域活動への参加意向		○

若者の意見反映・社会参画について		ねらい	H30調査項目
新 問19	国や大津市の制度や政策の情報取得手段	若者の意見表明や社会参画に対する考え方の把握	
新 問20	国や大津市に対して意見表明の希望		
新 L問20-1	国や大津市に対して意見表明を望む理由		
新 L問20-2	国や大津市に対して意見表明を望まない理由		
新 問21	意見を表明しやすい手段		
新 L問21-1	意見を表明する場所		

困難に直面した経験と支援について		ねらい	H30調査項目
新 問22	過去、または現在における困難への直面状況	困難に直面した経験と必要な支援ニーズの把握	
新 L問22-1	困難の内容		
新 L問22-2	困難に直面した時期		
新 L問22-3	困難が生活に影響しているか		
新 L問22-4	困難を乗り越えた際に役に立ったこと/必要な支援策		
新 問23	相談窓口や支援の情報が当事者に届いているか		

子どもを持つことに対する考えについて		ねらい	H30調査項目
新 問24	現在の婚姻状況	子どもを持つことに対する意識調査	
新 問25	子どもの有無		
新 L問25-1	将来、子どもを持ちたいと思うか		
新 L問25-2	子どもを持つ理由		
新 L問25-3	理想子ども人数と予定子ども人数		
新 L問25-4	理想の子ども数に近づけるために必要な施策		
新 L問25-5	子どもを持ちたくなるには		

大津市の子ども・若者支援施策について		ねらい	H30調査項目
新 問26	子ども・若者支援施策に対する満足度と重要度	現行計画の評価	
問27	大津市の子ども・若者政策に対する希望		○

自由記載

③子ども・若者支援ニーズ調査 (本速報における分析の方向性)

- **子どもを産み育てることに関する意識**

子どもをもつことに対する意識の世代間の差や、子どもと過ごす時間、育児休業取得状況の夫婦間の差から、出産や育児に関する意識の課題を読み取る

- **子ども・若者の意見表明に対する意識**

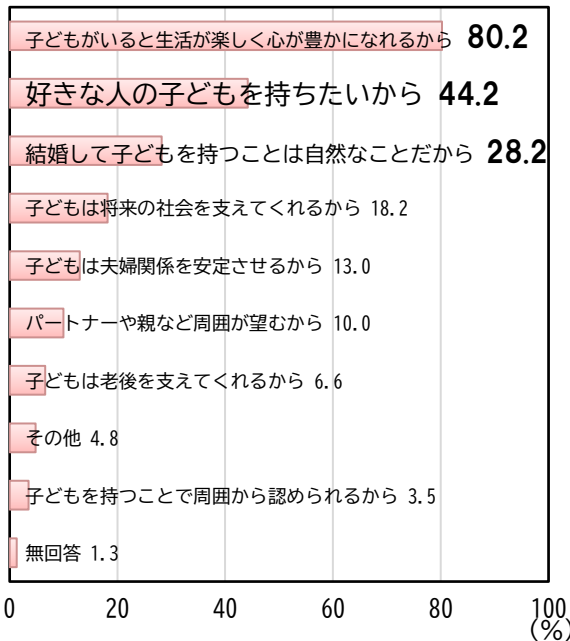
意見を言うことに対する考えや伝えやすいと思う手法から、その課題を読み取る

※教育・保育及び地域子育て支援事業のニーズの把握は最終報告にて示す

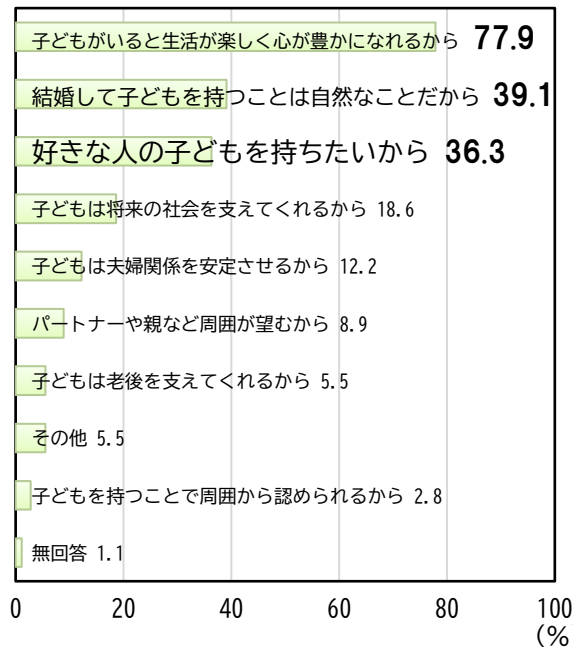
③子ども・若者支援ニーズ調査 (子どもを持つ理由について)

未就学_問38/小学生_問33/若者_問25-2
 あなたが子どもを持つ(または持ちたいと思う)理由は何ですか。

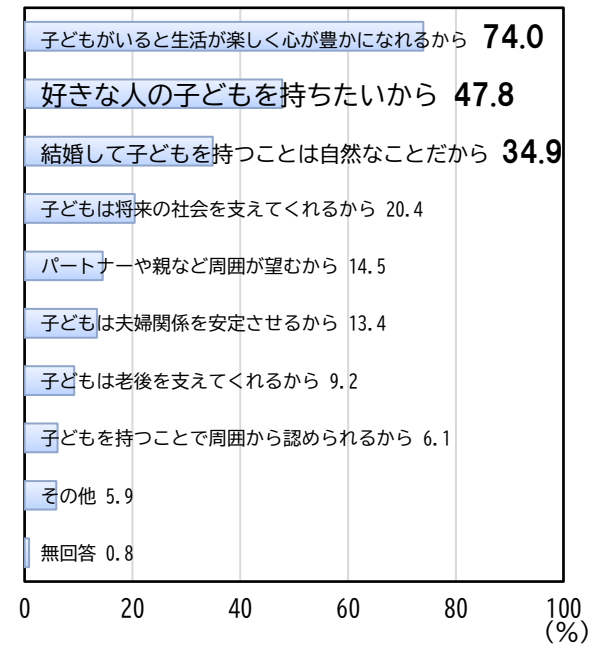
【未就学】 (N2, 539)



【小学生】 (N1, 610)



【若者】 (N358)



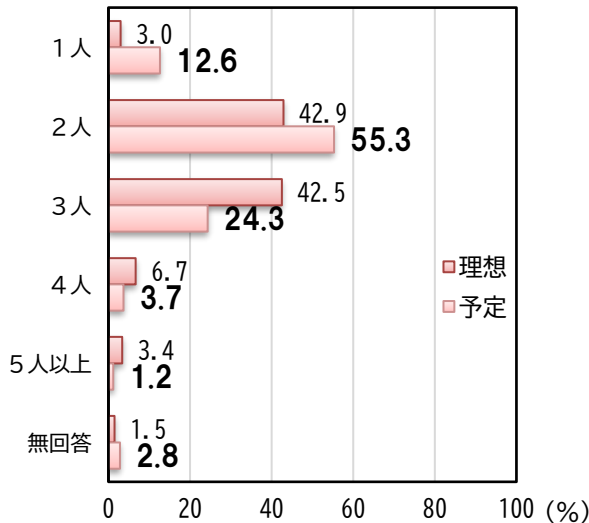
- 子どもを持つ理由についてみると、どの世代でも「子どもがいると生活が楽しく心が豊かになれるから」、「好きな人の子どもを持ちたいから」、「結婚して子どもを持つことは自然なことだから」の回答が多い

③子ども・若者支援ニーズ調査 (理想と予定の子どもの人数について)

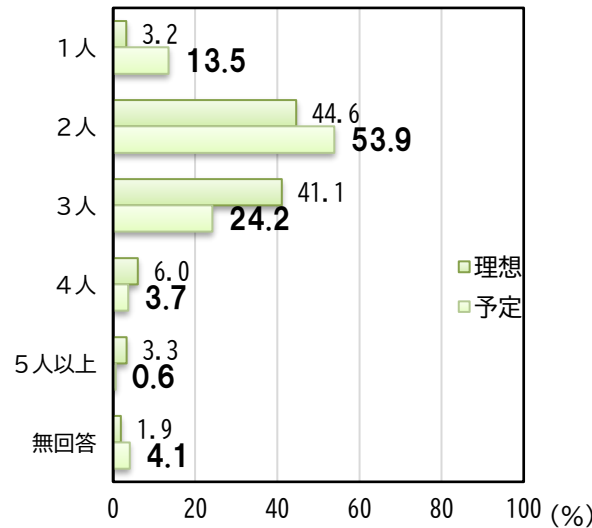
未就学_問39／小学生_問34／若者_問25-3

あなたの①理想とする子どもの人数と②予定している子どもの人数はそれぞれ何人ですか。

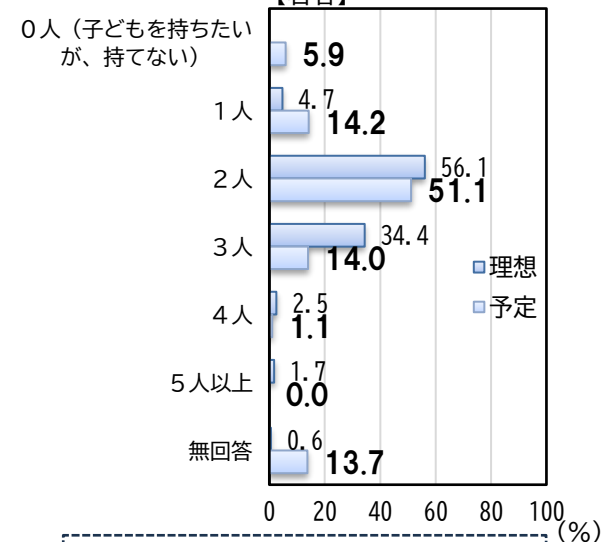
【未就学】 (N2, 539)



【小学生】 (N1, 610)



【若者】 (N358)



理想人数平均 > 予定人数平均
2.601人 > 2.169人

理想人数平均 > 予定人数平均
2.562人 > 2.117人

理想人数平均 > 予定人数平均
2.386人 > 1.628人

- 理想とする子どもの人数と、予定している子どもの人数についてみると、それぞれの平均値を比較するとどの世代も予定している子どもの人数が少ない
- 未就学児童、小学生児童をもつ保護者の回答と比較して、若者の回答は理想と予定のギャップが大きく、理想とする子どもの人数も少ない
- 若者の6%は子どもを持ちたいが持てないと回答している

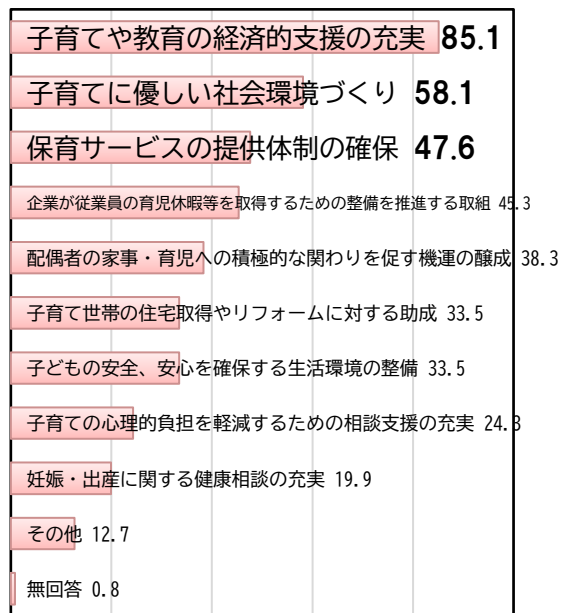
③子ども・若者支援ニーズ調査

(理想と予定の子どもの人数のギャップ解消に必要な施策について)

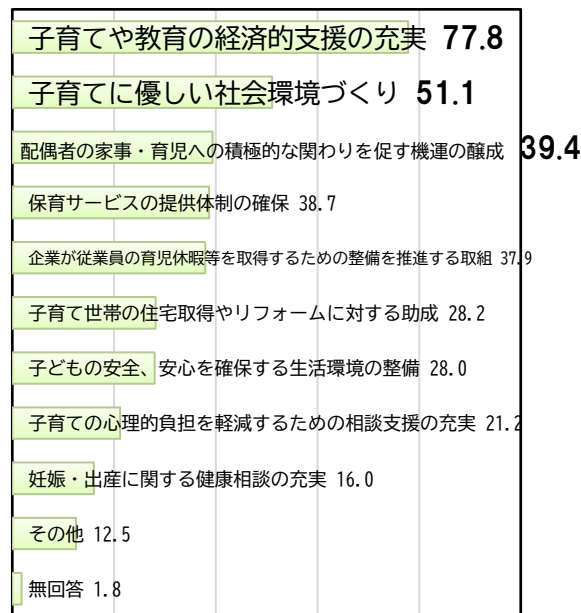
未就学_問39-1 / 小学生_問34-1 / 若者_問25-4

あなたが理想とする子どもの人数と予定している人数とを近づけるために必要だと思う施策は何ですか。【複数回答】

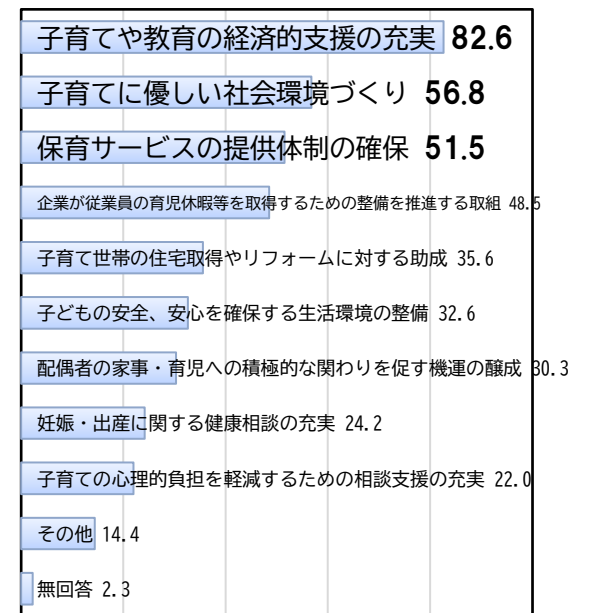
【未就学】



【小学生】



【若者】



- 理想とする子どもの人数と、予定している子どもの人数を近づけるために必要なことについてみると、経済的支援の充実と子育てにやさしい社会環境づくりに回答する割合が、いずれの世代も高い。
- 未就学児童保護者と若者については、保育サービスの提供体制の確保について、小学生児童保護者は配偶者の家事・育児への積極的な関わりを促す機運醸成について回答した割合が高い。

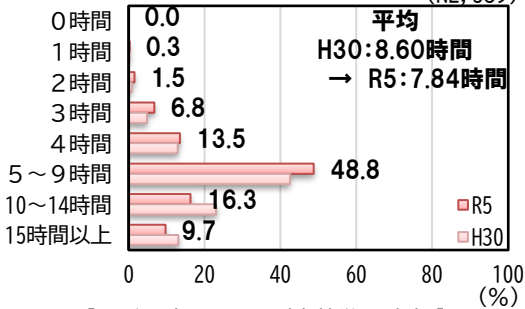
③子ども・若者支援ニーズ調査 (子どもと過ごす時間・充足度について)

未就学_問31／小学生_問29

現在、お子さんと一緒に過ごす時間は1日平均(平日)どのくらいですか。また、その時間は十分だと思いますか。

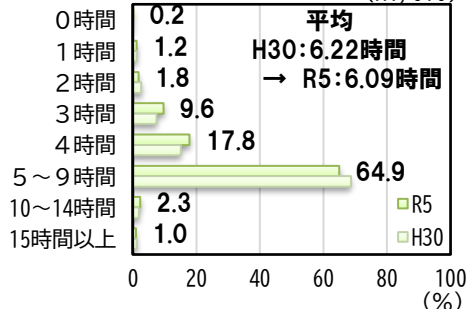
【過ごす時間の長さ(未就学_母親)】

(N2,539)



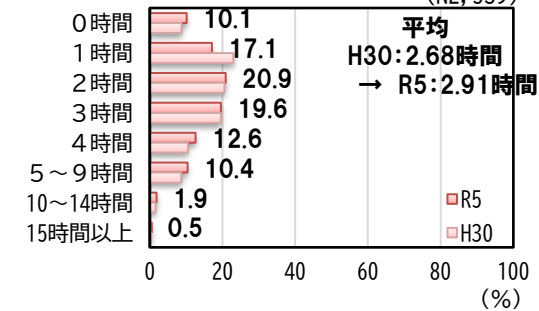
【過ごす時間の長さ(小学生_母親)】

(N1,610)



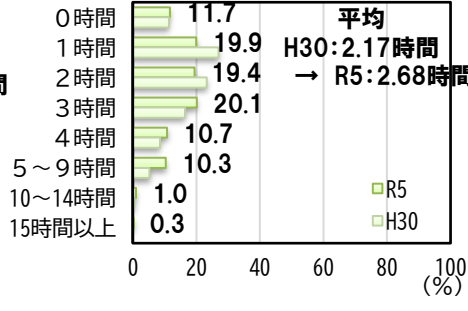
【過ごす時間の長さ(未就学_父親)】

(N2,539)

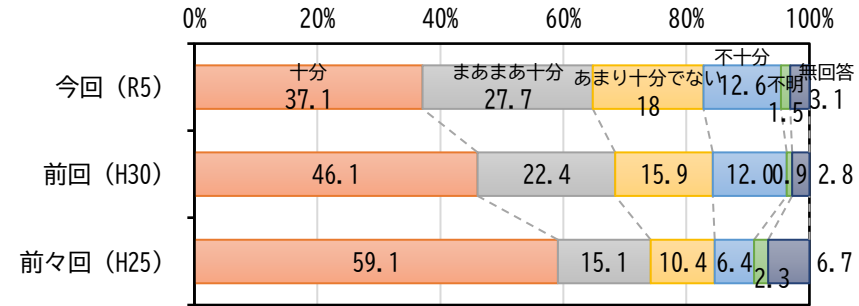


【過ごす時間の長さ(小学生_父親)】

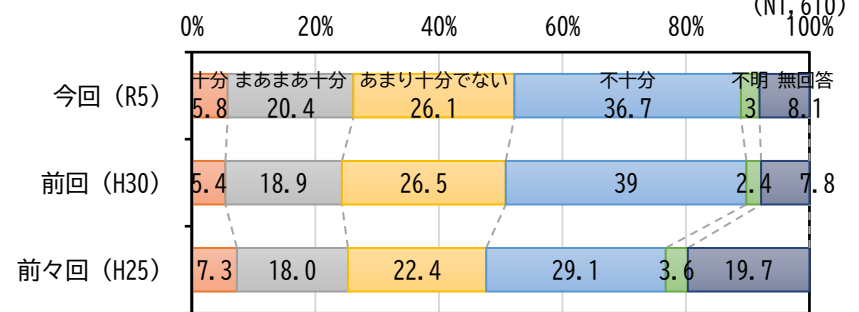
(N1,610)



【子どもと過ごす時間の充足度(未就学_母親)】 (N2,539)



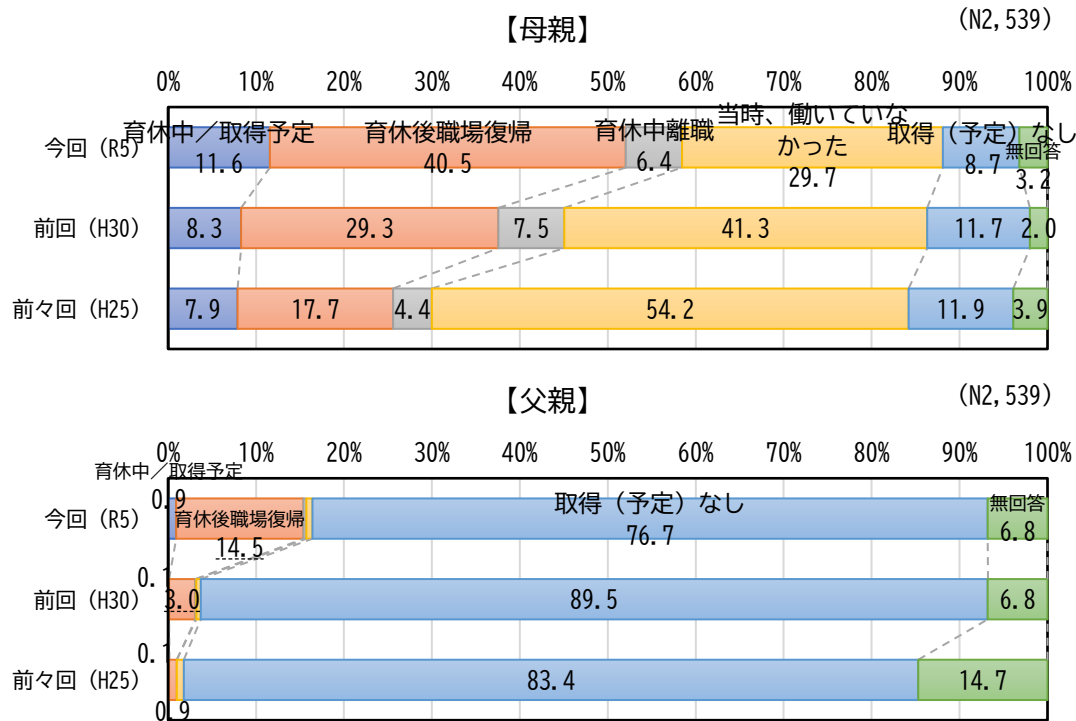
【子どもと過ごす時間の充足度(未就学_父親)】 (N1,610)



- 子どもと過ごす時間についてみると、前回調査(H30実施)と比較して、母親は未就学児童で平均約1割、小学生もわずかに短くなっている。一方で父親は未就学児童で平均約1割、小学生児童で約2割長くなっている。
- 未就学児童の保護者が子どもと過ごす時間についてみると、「十分」と回答した保護者は前回、前々回(H25実施)と比較して大幅に減っており、「あまり十分でない」、「不十分」と回答した割合が3割以上である。

③子ども・若者支援ニーズ調査 (育児休業取得状況について)

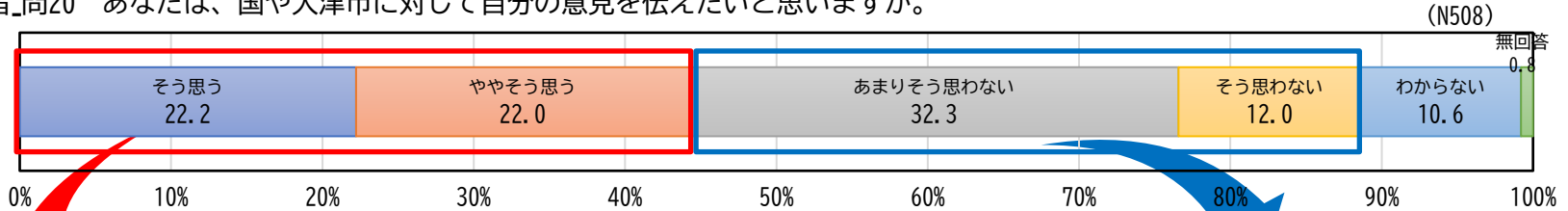
未就学_問32 お子さんの出生時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。



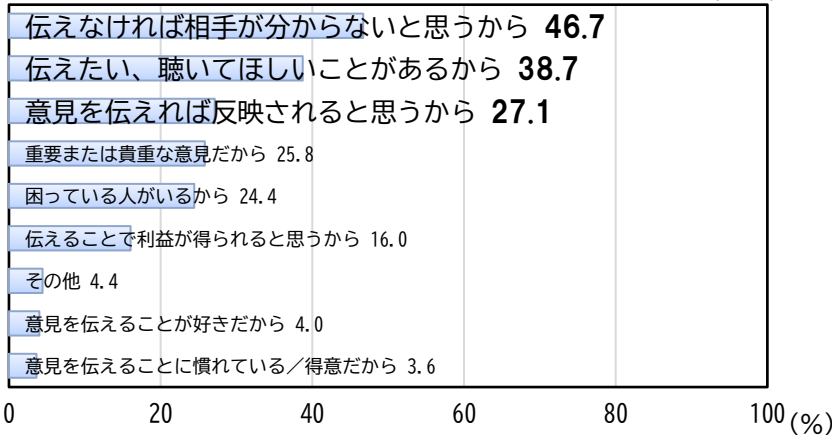
- 未就学児童保護者(母親)の育児休業取得状況についてみると、前回、前々回調査と比較して、育児休業取得後、職場に復帰した割合が増え、当時働いていなかったと回答した割合が減っている。
- 父親についてみると、育児休業を取得(取得予定)している割合と育児休業取得後、職場に復帰した割合が増えており、取得しない(取得予定がない)割合は減っている。

③子ども・若者支援ニーズ調査 (子ども・若者の意見表明の意思について)

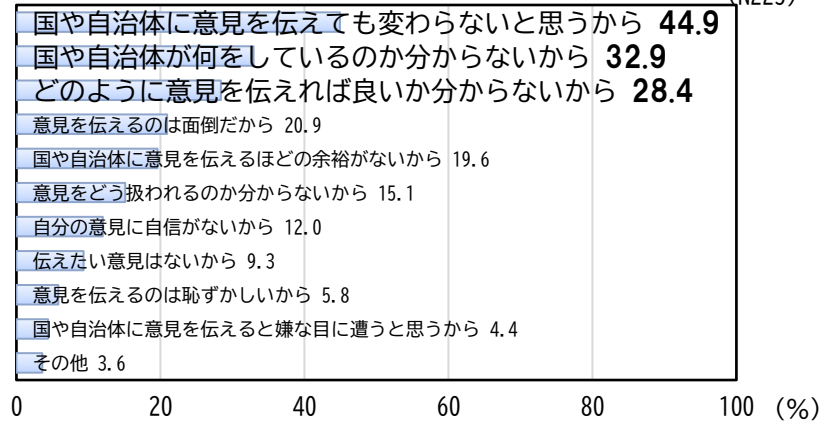
若者_問20 あなたは、国や大津市に対して自分の意見を伝えたいと思いますか。



若者_問20-1 国や大津市に対して自分の意見を伝えたいと思うのはどうしてですか。【複数回答】 (N225)



若者_問20-2 国や大津市に対して自分の意見を伝えたいと思わないのはどうしてですか。【複数回答】 (N225)

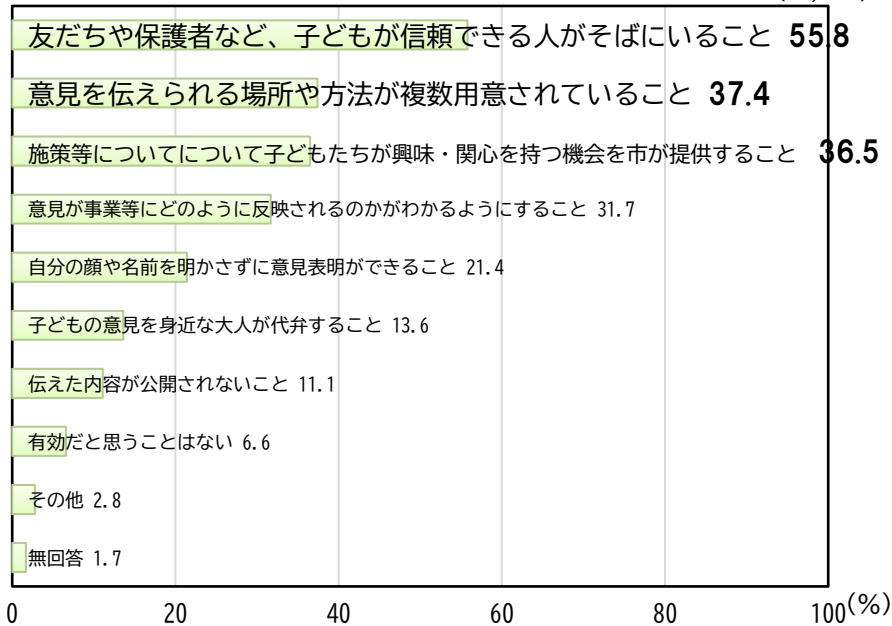


- 国や市に対して自分の意見を伝えたいかについてみると、意見を伝えたいと答えた理由は「伝えなければ相手がわからないと思うから」、「伝えたい、聴いてほしいことがあるから」、「意見を伝えれば反映されると思うから」の順で回答が多かった。
- 意見を伝えたいと思わない理由は、「意見を伝えても変わらないと思う」、「国や自治体が何をしているのかわからない」、「どのように意見を伝えれば良いか分からない」といった無力感や情報不足といった声が多かった。

③子ども・若者支援ニーズ調査 (子どもや若者が意見を表明しやすい方法)

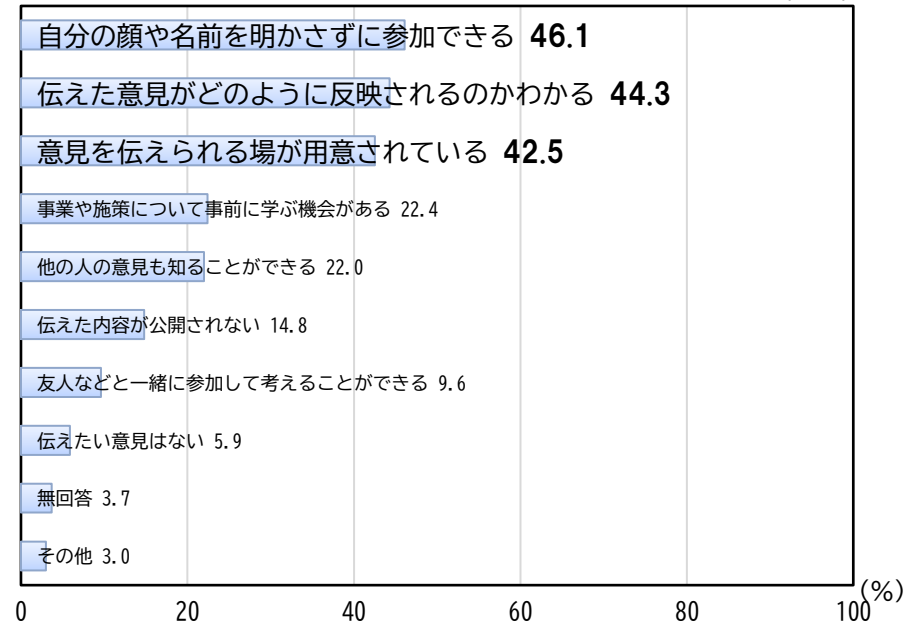
小学生_問22 大津市が取り組む子ども・子育て施策について、
子どもが意見を表明しやすくするために有効だと思うことは何ですか。

【複数回答】(N1,610)



若者_問21 国や大津市に対して、どのような方法であれば意見が伝えやすいと思いますか。

【複数回答】(N508)



- 子どもや若者が意見を表明しやすい方法についてみると、小学生保護者では、「子どもが信頼できる人がそばにいること」、「意見を伝えられる場所や方法が複数あること」、「施策について子どもたちが興味関心を持つ機会を提供すること」といった回答が多かった。
- 若者では、「自分の顔や名前を明かさずに参加できる」、「伝えた意見がどのように反映されるのかわかる」、「意見を伝えられる場が用意されている」といった回答が多かった。

今後のスケジュール

